

(4) 協議会・幹事会並びに各部会の令和3年度活動報告
及び令和4年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項目	内容
令和3年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年4月15日(木) 第16回 兵庫県がん診療連携協議会(Web開催) ○ 令和3年6月10日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 令和4年2月17日(木) 第2回幹事会 (Web開催) ○ 令和3年10月23日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第11回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：兵庫県民会館 9階「けんみんホール」(会場44名、Web 102名 参加) テーマ：小児とAYA世代のがんについて 担当病院： 兵庫県立こども病院
令和4年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 4年 4月 7日(木) 第17回 兵庫県がん診療連携協議会(Web開催) ○ 令和 4年 6月16日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 令和 5年 2月 9日(木) 第2回幹事会 (Web開催) ○ 令和4年11月26日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第12回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 (開催方式は未定) 場 所：兵庫県民会館 9階「けんみんホール」 テーマ：「肺がんと膵がんの最新の医療について」 担当病院： 姫路医療センター

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
令和3年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） 開催日：①令和3年8月20日(金) ②令和3年8月27日(金) ③ 令和3年9月3日(金) 内容:(1)最新のがんゲノム医療と看護の実際 (2)免疫チェックポイント阻害薬と看護の実際 (3)アドバンス・ケア・プランニング (4)今、がん患者が抱える問題 (5)事例検討 開催方式：Web開催(Zoom) 参加人数：21名 ○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・研修・教育部会セミナー 令和 3年10月 9日(土) テーマ：「がんゲノム医療の新展開」 開催方式：Web開催(Zoom) 107名参加 ・放射線セミナー 令和 3年10月30日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ：「肺がんの診断と治療 -update-」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 53名、Web 170名） ・検査セミナー 令和 3年12月 4日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ：「多発性骨髄腫～見えない腫瘍を求めて～」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 35名、Web 114名） ・薬剤師セミナー 令和 4年 1月14日(金) 12時～1月31日(月) 17時 テーマ：「多発性骨髄腫」 開催方式：オンデマンド配信（視聴者 136名） ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第7回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日時：令和 3年12月11日(土) Web開催(Zoom) 10チーム参加（4名/チーム） テーマ：「がんゲノム医療」 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> ・第11回ひょうご県民がんフォーラム 令和3年10月23日(土) 兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ：「小児とAYA世代のがんについて」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 44名、Web 102名） 担当施設：兵庫県立こども病院（持ち回り開催）
令和4年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護コアナース育成セミナーの開催(兵庫県立がんセンター) 日程・内容:①令和4年9月30日(火)「今、改めてがん化学療法中の“食”を考える」 ②令和4年10月7日(金)「がん看護の“もやっど”を考える倫理カンファレンス」 ③令和4年10月14日(金)「事例検討」 ※いずれも17時30分開始、Web開催 ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第8回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 場所：兵庫県立がんセンター2F 大会議室 テーマ:「がん治療における妊孕性温存(仮)」 日程、開催方法は「未定」 ○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・研修・教育部会セミナー 令和 4年10月 8日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:「up to date 遺伝性腫瘍(仮)」（現地開催とZoomウェビナーによるハイブリット方式） ・放射線セミナー 令和 4年10月15日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ：「膵臓がんの診断と治療-update-」 開催方法は「未定」 ・検査セミナー 令和 4年11月 5日(土) 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:「オンコロジー・エマージェンシー」 開催方法は「未定」 ・薬剤師セミナー 令和 5年 1月21日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマは「未定」、開催方法は現地開催のみ ○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> ・第12回ひょうご県民がんフォーラム 令和 4年11月26日(土) 兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ:「肺がんと膵がんの最新医療について」 開催方法は「未定」 担当施設：姫路医療センター（持回り開催）

《令和3年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和4年3月31日 現在

部 会 名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる 専門的な医療従事 者の育成	がん医療・看護の質向上をは かり、がんに関する知識が実践 に繋がるような研修が必要であ る。	○県内医療機関に勤務するがん看護に携わる看護師を対象 に、「がん看護コアナース育成セミナー」を例年より縮小して企 画開催する (令和3年9～10月頃 開催予定 募集人数:20名 開催方法:ZoomによるWeb開催)	令和4年3月	○	達成	8月20日、27日、9月3日の3日 間、計5.5時間講義と事例検討を オンラインで開催した。募集人数 を上回る13施設21名の看護師が 参加した。最新のがん医療に関 するテーマの講義や日常のケア に関する困りごとなどを意見交換 出来る機会になったと好評であ った。	継続	オンラインでの開催でも研修目的 を十分到達出来る研修だったので、 次年度もオンラインでの開催を予定 している。
		医療関係者の育成について は、セミナーの開催などにより 継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第7回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 場 所：兵庫県立がんセンター 大会議室 日程、テーマ、開催方法は未定 ○セミナーの開催 (1) 研修・教育部会セミナー 令和3年10月9日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:がんゲノム医療の新展開 (2) 放射線セミナー 令和3年10月30日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:肺がんの診断と治療-update- (3) 検査セミナー 令和3年12月4日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ:多発性骨髄腫～見えない腫瘍を求めて～ (4) 薬剤師セミナー 令和4年1月15日 兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ:多発性骨髄腫	令和4年3月	○	達成	コロナ感染症が流行する中、Web 開催などにより、医療従事者を対 象としたセミナーや研修会を開催 し、医療レベルの向上を図った。 ・がん化学療法チーム医療研修会 10チーム40名、関係者含め61名 すべてWebで参加 テーマは「がんゲノム医療」 ・研修教育部会セミナー Web参加のみ 107名参加 ・放射線セミナー 会場53名、Web 170名 ・検査セミナー 会場35名、Web 114名 ・薬剤師セミナー * R4.1.14～1.31オンデマンド配信 (視聴者136人)	継続	がん診療連携拠点病院、準じる病 院、その他の医療機関に対して、引 き続き積極的な参加を呼びかける。 また、コロナ禍収束後もハイブリ ット(会場とWeb配信)開催を可能な限 り継続し、遠隔地からの参加を容易 にするとともに、平日開催の可能性 も模索したい。
			○ 県民フォーラムなどの開催 第11回 ひょうご県民がんフォーラム 日 時：令和3年10月23日(土) 場 所：兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ：「小児とAYA世代のがん」(仮) 開催方法：未定 担当施設：兵庫県立こども病院	令和3年10月	○	達成	県民へのがん治療への理解を深 めるため、10月23日に開催した。 テーマは「小児とAYA世代のがん について」、コロナ対策のため会 場とWebによるハイブリッド方式 で開催した。 (会場参加44名、Web参加102名)	継続	来年度も引き続いて「第12回ひょう ご県民がんフォーラム」を開催し、 県民へのがんに対する知識の啓 発を目的に活動を続けていく。
			○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、 セミナーの共催及び後援名義の使用承認 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.htmlに掲載)	令和4年3月	○	達成	地域で開催されるセミナーや研 究会などの共催及び後援などを 行った。 共催3件、後援2件	継続	主催者と連携を図り、引き続き共 催、後援を行う。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《令和4年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和4年6月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理			
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善
						区分	実施内容	区分
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	○県内医療機関に勤務するがん看護に携わる看護師を対象に、「がん看護コアナース育成セミナー」をオンラインで開催する 日 程:①令和4年9月30日 ②令和4年10月7日 ③令和4年10月14日 募集人数:20名 内 容:①今改めてがん化学療法中の”食”を考える ②がん看護の”もやっど”を考える倫理カンファレンス ③事例検討 開催方法: ZoomによるWeb開催	令和5年 3月				
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第8回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 場 所: 兵庫県立がんセンター 大会議室 テーマ: がん治療における妊孕性温存(仮) ※日程、開催方法は未定 ○セミナーの開催 (1) 研修・教育部会セミナー 令和4年10月8日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ: up to date 遺伝性腫瘍(仮) 開催方法: 会場、Webによるハイブリット方式 (2) 放射線セミナー 令和4年10月15日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ: 臓器がんの診断と治療-update- 開催方法は未定 (3) 検査セミナー 令和4年11月5日 兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ: オンコロジー・エマーゼンシー 開催方法は「未定」 (4) 薬剤師セミナー 令和5年1月21日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ: 「未定」 開催方法: 会場参集のみ	令和5年 3月				
			○ 県民フォーラムなどの開催 第12回 ひょうご県民がんフォーラム 日 時: 令和4年11月26日(土) 場 所: 兵庫県民会館「けんみんホール」 テーマ: 「肺がんと膵がんの最新医療について」 開催方法: 未定 担当施設: 姫路医療センター	令和4年 11月				
			○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、セミナーの共催及び後援名義の使用承認 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載)	令和5年 3月				

(注)実施管理・区分欄の記入について

○評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項 目	内 容
令和3年度の活動報告	<p>1 活動報告（詳細は議事録参照）</p> <p>1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議を年4回開催する</p> <p>第13回会議 令和3年6月15日(火) 13:00～15:30 WEB会議 【内容】 就労支援「離職防止(特に拠点病院受診前)に向けた取り組みについて」 ～専門家との情報交換、グループワークを通して離職防止の取り組みを考える～ 62名受講</p> <p>第14回会議 令和3年9月18日(土) 9:50～14:40 WEB開催 【内容】 単位研修「がんゲノム医療って」 ～遺伝子パネル検査を受けたいと聞かれたらどう答えますか?～ 58名受講</p> <p>第15回会議 令和3年12月11日(土) 14:00～16:00 WEB会議 【内容】 「バウンダリー」について(講義)、がんピアサポーターとがん相談支援センター 相談員との交流会・グループワーク 60名受講</p> <p>第16回会議 令和4年3月12日(土) 13:00～15:30 WEB会議 【内容】 各施設の質改善活動の評価</p> <p>2) 事務局会議の開催</p> <p>第33回事務局会議 令和3年6月15日(火) 15:45～17:10 WEB会議 【内容】 1. 部会の運営について 2. 第14回情報・連携部会(相談員研修)について</p> <p>第34回事務局会議 令和3年9月18日(土) 15:10～16:20 WEB会議 【内容】 1. 部会の運営について 2. 2022年相談員研修について</p> <p>第35回事務局会議 令和3年12月11日(金) 16:15～17:15 WEB会議 【内容】 1. 部会の運営について 2. 次年度の体制について</p> <p>第36回事務局会議 令和4年1月20日(木) 16:30～17:30 WEB会議 【内容】 1. 情報・連携部会 小集団活動の評価と課題 2. 次年度の体制について</p> <p>第37回事務局会議 令和4年2月10日(木) 16:00～17:00 WEB会議 【内容】 1. 部会の次年度の体制について</p> <p>第38回事務局会議 令和4年3月12日(土) 15:45～17:30 WEB会議 【内容】 令和4年度の事業計画について</p>
令和4年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>1 活動計画</p> <p>1) 部会</p> <p>【日程】 ①6月17日(金)、②10月8日(土)、③12月10日(土)、④令和5年3月11日(土)</p> <p>【内容】 6月 就労支援関連 10月 相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修) 12月 ピアサポーターとの交流会 3月 PDCA評価</p> <p>2) 事務局会議</p> <p>開催日 毎月第2水曜日14:30～15:30 開催方法 WEB会議システム(ZOOM)</p> <p>3) 就労関連</p> <p>ハローワークとのオンライン面談の実現化 拠点病院紹介前の離職を食い止める取り組みを関連機関と検討</p> <p>4) ピアサポーター関連</p> <p>ピアサポーター養成研修(8月27、28日)、フォローアップ研修(12月10日) ピアサポーター研修を開催できる人材(ファシリテータ)の育成と体制構築 オンライン患者サロンの拡大に向けた体制整備など</p>

部会名	P 実施計画				実施管理					
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善		
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)	
情報連携部会	①目標・情報管理Gの必須業務	①兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストの活用 ②PDCA管理 ③情報一元化の運用 ④兵庫県がん診療連携協議会事務局との連携 ⑤事務局会議の運営	①兵庫県新がん相談支援センターの活動の自己評価を行う ②(2021年3月)「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」を、実務者MLにて全病院に配信、評価結果を目標管理に活かすよう伝達し、各病院はチェックリストを用いて問題点を明らかにする ③(4月末まで)各病院は、「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」を目標・情報管理リーダーまで提出を行う。 ④(5~7月)全病院から評価結果を回収し、集計をGメンバー内で行い、兵庫県がん診療連携協議会ホームページに兵庫県で一括したデータをWEB公開する ⑤(11月)次年度に向けた「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト(20190301兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会作成)」を、実務者MLにて全病院に配信、評価結果を目標管理に活かすよう伝達する ⑥(12月)各病院は、「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」を用いて問題点を明らかにし、チェックリストは目標・情報管理リーダーまで提出を行う ⑦(2022年1月)①目標・情報管理Gメンバーにて、各病院から集まったチェックリストを集計する ⑧(2月)集計した結果、兵庫県全体としての課題を抽出し、次年度情報・連携部会として取り組むべき課題について、2月臨時事務局会議にて検討を行う ⑨(3月)チェックリスト評価結果・部会のPDCA評価表・各病院のPDCA評価表を兵庫県がん診療連携協議会ホームページにWEB公開する(各病院のPDCAをWeb公開するかは9月事務局会議で検討) 2)各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う ①各病院は、1)の結果を参考にして、目標管理の書式に則り、2021年度の医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる ②各病院は、年4回開催する情報・連携部会会議の時期に、目標の進捗状況を確認する ③(3月)年度末の情報・連携部会にて、PDCA評価の共有を行う(情報・連携部会運営G) 3)兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会のPDCA評価表の取りまとめを行う ①立案・2021年度活動計画は、2021年1月に各グループ間で話し合いを行い、2月臨時事務局会議で発表、意見交換し承認を確認し、3月情報・連携部会にて共有 ②(9月)中間評価を行う ③(1月~3月)年度末評価と次年度計画立案:2022年1月中旬に各グループ間で評価・立案を行い、2月中旬に事務局メンバーで意見交換し承認を得て、3月情報・連携部会で全体共有する	2021年3月 2021年4月 5~7月 11月 12月 2022年1月 2月 3月	達成	○目標管理の取りまとめ 1)「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」は、各病院でチェックを行い目標管理に活かすよう促せた。①Gにてチェックリストを取りまとめ、集計を行い、今年度より兵庫県がん診療連携協議会ホームページに兵庫県で一括したデータをWEB公開することができた。 2)国拠点は必須でPDCA評価表を使用しており、情報・連携部会会議の時期に各病院で目標の進捗状況を確認していただいた。年度末に部会にて全体共有を行った。 3)兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会のPDCA評価表も、立案、中間評価、年度末評価ともに計画通り実施できた。	○目標管理の取りまとめ 1)「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」は、各病院でチェックを行い目標管理に活かすよう促せた。①Gにてチェックリストを取りまとめ、集計を行い、今年度より兵庫県がん診療連携協議会ホームページに兵庫県で一括したデータをWEB公開することができた。	今後も「兵庫県新がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」の活用を継続し、兵庫県としての課題を抽出し、部会の活動に活かす。		
		2)相談支援に係る情報の整備が実施されていない。	○「相談支援一元化情報」の取りまとめ 1)2020年度より兵庫県がん診療連携協議会のホームページにフォルダを作成して掲載しており、年1度の更新を行う(協議会事務局担当者へデータを送り更新を依頼する) ①(9月)事務局会議にて、様式の改訂について検討を行う。改訂が必要であれば、改訂を行う ②(2022年1月~2月)実務者MLにて情報の更新を依頼する ③(3月)情報を取りまとめホームページに掲載する	9月 1月~2月 3月	達成	○「相談支援一元化情報」の取りまとめ 1)一般向けにわかりやすいように説明の文言を追加し、年度末に情報更新した内容をホームページに掲載した。	継続	協議会ホームページの掲載内容について、一般の方も活用しやすいように更に改訂するかどうかは、次年度の継続課題とする。		
		3. 県下の相談支援部門の活動が情報公開されていない。	○兵庫県がん診療連携協議会事務局との連携 1)2020年度末に業務の移行を行う ①兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会メンバーの管理 ②兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議の開催案内と開催後の議事録を兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会メンバーに転送し部会員に伝達 2)兵庫県がん診療連携協議会のホームページの掲載 ①PDCA関連資料の掲載を依頼する ②相談支援一元化情報の更新を依頼する 3)年度末開催の兵庫県がん診療連携協議会 幹事会へ、活動報告と活動計画、資料の提出 ①協議会事務局より12月頃に部会長と①目標・情報管理Gのリーダー病院宛てに、幹事会開催案内のメールが届く ①「①目標・情報管理G」は、添付された活動報告の資料に、今年度の活動内容や次年度の活動計画を記載し、部会と事務局会議の議事録を添付資料として事務局へ提出する	2020年3月 2021年3月 12月	達成	○兵庫県がん診療連携協議会事務局との連携 1)2)3)共に計画通り事務局担当者で連携を取りながら実施できた。		次年度も引き続き①Gで対応行う。		
		4. 事務局の効果的な運用が実施されていない。	○事務局会議の運営 1)会議は、必要に応じて随時開催することとする。2021年度は、情報・連携部会開催後に年4回定期開催を行う予定とする ①会議は、がん診療連携協議会情報・連携部会長が招集する 必要に応じて、情報・連携部会部会員ならびに兵庫県疾病対策課担当者から、情報・連携部会長に対して、事務局会議開催を要する。①目標・情報管理Gのメンバー病院も会議に参加する ②(4月)事務局会議開催にかかる公文書は、定期開催分は年度始めにひな型を用いて作成し、事務局メンバーへ送る 臨時開催分は適宜事前に作成する。定期開催分のZoomの手続きは、「②情報連携部会運営G」に事務局会議終了時間18時までを予約してもらう ③議事予定・会議資料の作成、開催の案内、Web会議の準備・司会進行を行う ④会議での協議内容は、議事録に書き留める 議事録は持ち回り制とし、年度始めに当番表を作成する 書記担当者は、実務者MLにて全体に伝達する ⑤事務局会議の資料と情報・連携部会会議資料は、各病院は実務者メンバーで受け取り各自保管しておく ①目標・情報管理Gは、共有フォルダorUSBに保管する。(管理の最終責任を①Gが担う) ⑥年度末までに次年度の引継ぎとして、①目標・情報管理Gのマニュアルを作成する。	~3月	達成	○事務局会議の運営 1)①G間で当番制にし会議の司会進行、書記などを対応した。公文書は年度始めに一括することができたため、スムーズに運営できた。定期開催は問題なく計画通り実施できている。臨時開催を2回行った。 次年度は毎月定例会を実施する予定。 ①Gのマニュアルを年度末までに作成できた。		次年度は事務局会議の回数を増やす予定であり、事前打ち合わせも加え、各回の司会や書記等の分担を決めている。		
		②情報・連携部会運営Gの必須業務	①6月、12月、3月の情報連携部会の開催 部会の企画~準備~実施~報告のすべて ②その他、部会運営に関すること							
		がん相談支援センターのPDCA実施結果をふまえ、課題の確認、明確化を行い、また国の政策や動向を見据えた課題についても取組みが進められるよう、情報連携部会を企画・運営する	1. 2020年度PDCAサイクルより、継続して取り組む課題(就労支援、ピアサポート、相談員の質向上・指導者の人材育成)がある	○課題への取組み 1)課題が達成されるよう、各グループと協働して実務者の会議を年4回開催する 開催時期は6月:就労支援、12月:ピアサポート、3月:まとめ ①会議の内容は、各グループの方向性を踏襲したものとし、各グループと連携して内容を決定する 各グループに目標達成のために必要な研修内容を確認し、部会の構成を組み立てる ②ミーティングスケジュール、講師依頼、会議案内、公文書の作成・発行、当日の司会、議事録作成、部会員への周知を行う ③9月の研修については⑤グループと連携し、ミーティングスケジュール、会議案内、公文書の作成・発行、議事録作成、部会員への周知を行う 2)次年度以降の会議開催がスムーズに行われるよう、事務手続き等の詳細については要領を基に会議開催マニュアルを作成する	3月	○	6月、12月の部会は③Gと④Gにメールで意見交換を行い計画を立てた。直前の事務局会議で内容について議論して実施することができた。 書類の扱いについて当初不明な点があったものの、滞りなく行えた。 協議の結果、全て⑤Gが行った。②Gがサブアカウントを取得しトラブルに備えた。 要領の改訂。部会運営マニュアル(初版)を作成した。	継続	継続して事務局会議で部会の方向性を議論する マニュアルを元を実施する 9月の研修も当グループが運営を行う 使用しながら随時修正を行う	
		2. COVID19の影響により集合形式の会議ができない	○会議の持ち方 1)集合形式ではなく、オンライン(ZOOM)形式の会議を開催する ①どの施設がホスト(主催者)になっても会議が行えるよう、ZOOM会議の手順マニュアルを作成する	3月	○	達成	ZOOMのマニュアルを作成した。Dropboxに格納し、他のグループも活用できるようにした。		使用しながら随時修正を行う	
		3. 年度途中で国の政策などにより新たな課題が出てくる可能性がある	○国の動向について 1)都道府県拠点病院である県立がんセンターと情報共有を行い、課題が生じれば必要に応じて会議の内容を変更・再検討する			○	達成	6月の就労支援の内容について、現状だけではなく広く離職防止に向けた意見交換を行った。		年度途中で新たな課題が生じれば必要に応じて部会内容を変更する

<p>③就労支援推進Gの必須業務</p>	<p>①就労支援にかかる関係者と連携ネットワークを構築し、県下で就労支援が拡充するよう情報共有や課題の確認、改善に取り組む ②離職防止の兵庫県統一資料の開発 ③その他、兵庫県の就労支援の促進に関すること</p>				
<p>がん患者の就労支援を行うための継続的な支援体制を作る</p>	<p>1. 就労支援にかかる関係者との連携が図れていない。 2. 離職予防のための啓蒙施策が不十分である。</p>	<p>3月</p>	<p>○ △</p>	<p>1)6月の部会にて「離職防止に向けた取り組みについて」というテーマで就労支援のオンライン会議が開催された。会議内容は各施設の現状、情報共有がはかられ、有意義なものとなった。一方で体制変更のもと、年度初回の開催が決まっていたことも確認が遅れ、時間的猶予がなかったことから開催に際し、情報・連携部会運営グループとよく連携、協力ができなかった。 2)離職予防のための啓蒙資料(ポスター・リーフレット)の作成は各施設で取り掛かった。なお、6月の事務局会議で取り上げられた医師会との協働については①の目標に即したのとして、木澤部会長より2月の医師会幹事会にて提案頂く方向となった。グループとしては目標②としていた啓蒙資料がまず必要と捉え、活動してきた経緯がある。また、目標①はグループ活動に即した部会開催協力を活動内容と理解してきた。事務局会議にて進捗報告をきたつもりであったが、結果的にゴール設定にずれが生じた点は課題である。予め報告、連絡、相談によって情報共有を密にすることで早い段階で軌道修正していくことが肝要か。</p>	<p>1)については次年度開催に向けて内容検討をグループ内で予めすすめていく。 2)各施設(クリニック等を含め)で活用するような統一資料の完成を目指す。 * ハローワークとの連携体制の構築</p>
<p>④ピアサポート活動の推進Gの必須業務</p>	<p>①兵庫県ピアサポート養成講座 ②兵庫県ピアサポーターフォローアップ研修 ③その他、ピアサポートに関する人材育成、活用、活動促進に関すること ○がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーターを人材育成する</p>				
<p>がん患者のピアサポーターの体制づくり・継続教育を支援する</p>	<p>1. がん患者のピアサポーター(人材)が質・量ともに充足していない 1)がんサポートグループ企画・運営者のための研修会に参加し、他県のがんサポートグループの企画・運営スキルを学び、ピアサポート活動に生かすための知識を得る(目標達成期日2021年4月) ①リーダー・サブリーダー施設メンバーが参加し、グループメンバーに情報還元する 2)「ピアサポーター養成講座開催・ファシリテーターマニュアル」を、2019年度開催実施計画を基に作成する(目標達成期日2021年6月) ①兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課と相談し研修日の決定を行う ②開催3ヶ月前に開催マニュアルを完成する(目標達成期日2021年6月) ③兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課とマニュアル内容の確認後、情報・連携部会事務局へ提示しブラッシュアップを行う ④2022年度兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催(共催:姫路赤十字病院)し、準備・実施・評価を行う ⑤実施後の課題を基にマニュアルを修正する 3)「ピアサポーター養成講座修了者の継続教育開催・ファシリテーターマニュアル」を、2019年度開催実施計画を基に作成する(目標達成期日2021年9月) ①開催3ヶ月前に開催マニュアルを完成する(目標達成期日2021年9月) ②情報・連携部会事務局・兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課とマニュアル内容の確認後、提示しブラッシュアップを行う ③2020年度ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的としたフォローアップ研修会(応用研修)を開催(主催:姫路赤十字病院)し準備・実施・評価を行う ④実施後の課題を基にマニュアルを修正する 4)小集団②情報・連携部会運営グループと連携しながら、2021年度兵庫県情報連携部会の12月開催部会(ピアサポーターとの交流・連携を図る目的)を協働開催する</p>	<p>2022年3月</p>	<p>○</p>	<p>1)がんピアサポートグループ企画・運営者のための研修会(2021年2月11日開催)には、リーダー・サブリーダー施設メンバーが参加し、ピアサポート活動に活かすための知識を得た。前年度の経験者が中心となりピアサポーター養成研修企画運営するなかで、得た知識や情報を他のグループメンバーと共有した。 2)①②③「がんピアサポーター養成研修開催・ファシリテーターマニュアル」作成は2021年6月を目標達成期日としていたが、開催方式がCovid-19感染防止のためオンライン(Zoom)となったこと、兵庫県疾病対策担当者が4月から異動されたこともあり調整が遅れ、9月25日開催直前に完成となった。 経験の有無により役割分担に負担に差が生じたこと、オンライン会議で決議した内容を進行途中で兵庫県疾病対策課と担当3病院との関係が充分形成できないまま進行せざるを得なかった。1月12日、今年度の振り返りの際、兵庫県疾病対策課と研修参加者が話し合い、次年度は兵庫県疾病対策課がリーダーシップをとり、連携部会のピアサポート推進グループが協力していく予定となった。 ④2021年9月25日、26日とオンライン形式にてピアサポーター養成研修を実施した。研修内容は事前学習として「厚生労働省委託事業がん総合相談に携わる者に対する研修事業動画視聴、研修当日は講義とロールプレイを行った。参加者は8名、オンラインによる大きなトラブルはなく全員受講完了した。運営側の評価は、オンラインでの打ち合わせを行うにあたり、情報・連携部会長名で依頼文書を作成してもらうことで可能な限り時間内で行うよう努めた。参加者の反応では、ピアサポート活動のための知識や技術が得られた点で評価が高かったが、活動への自信や意欲は軽度高まった。また、オンライン研修であったが講義内容やロールプレイへの満足感、移動時間の節約へ評価の声がある一方、フリータイムがないことで参加者同士の自由な交流ができなかったことに対し残念との感想があった。今年度は、オンライン開催の土台作りを行った。今後の課題は、オンライン研修によるファシリテーターの役割の負担が大きく、部会全体でファシリテーターを担える人材を育成することである。 次年度に活かすために、振り返り・行動計画書の修正・見直しを行なった。 3)①②③④今年度のピアサポーター養成研修修了者の継続教育は、兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課より開催との意向があり、オンライン研修にて2020年度ピアサポーター養成研修受講修了者の継続教育を目的としたピアサポーターフォローアップ研修会(応用研修)を12月11日開催(主催:兵庫県・姫路赤十字病院)した。ピアサポーター養成研修では8名が養成され、フォローアップ研修参加者は15名であった。 フォローアップ研修の企画は10月から開始し、準備期間の長さやオンライン開催という点から、ロールプレイではなく、コロナ禍による参加者それぞれの変化や気がかりなどグループワークにて情報交換するという形式にした。その際に、自己の体験を語るや相手の話を聴くといったコミュニケーションスキルを活かすよう意識し、ピアサポーター間で近況や今後の活動について話し合う内容とした。グループワークの進行は、ピアサポーターで行ってもらった。 フォローアップ研修マニュアル作成にあたっては、ピアサポーター養成研修時と同じくオンラインによるミーティングにてマニュアル内容の確認後提示、ブラッシュアップを行い、12月に完成した。目標達成予定は9月であったが、研修企画の開始が10月からであったので完成が12月となった。 参加者の反応は事後アンケートから、オンラインにより移動時間が節約できたや他の参加者の活動状況を聞くことができたとの意見のほか、ロールプレイによる練習や実際に活動する場を広げるための取り組みを希望するなどの意見があった。 4)フォローアップ研修後に、2021年度兵庫県情報連携部会の12月開催部会(ピアサポーターとの交流・連携を図る目的)でのテーマ・内容を2G運営グループに提案し、午前のフォローアップ研修とリンクさせ開催した。内容は「バウンダリー」の講義を行い、ピアサポーターとがん相談支援センター相談員との交流会を行った。</p>	<p>○がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーターを人材育成する ピアサポーター養成研修への参加者が兵庫県のどこの地域からも増えるよう広報していく ピアサポーター同士の交流がもて、ピアサポーターのモチベーションがアップするような研修を検討する 修正したピアサポーター研修運営マニュアル、役割分担を基に兵庫県疾病対策課と連携し、計画通りピアサポーター養成研修、フォローアップ研修を実施する 1)がんサポートグループ企画・運営者のための研修会に参加し、ピアサポート活動に生かすための知識を得る 2)2022年度兵庫県がんピアサポーター養成研修開催。8月末～9月初め・主催:兵庫県・協力:情報連携部会小グループ・共催:丹波医療センターへ変更。 ①2022年2月兵庫県作成の「兵庫県がんピアサポーター研修運営マニュアル・役割分担表」に基づき研修準備をすすめる。 ②実施後の評価 マニュアル見直し ・開催日、開催形式、研修内容決定・ファシリテーターの準備・開催1か月前にはスタッフマニュアル完成 3)2022年度兵庫県がんピアサポーターフォローアップ研修開催。12月・主催:兵庫県・協力:情報連携部会小グループ・共催: ・開催日、開催形式、研修内容決定・ファシリテーターの準備・開催1か月前にはスタッフマニュアル完成 ②実施後の評価 マニュアル見直し 4)2022年度兵庫県情報連携部会12月開催部会(ピアサポーターとの交流・連携を図る目的)について小グループ②と協力して開催する。 ・開催日、開催形式、研修内容決定・ファシリテーターの準備・開催1か月前にはスタッフマニュアル完成</p>
<p>2. ピアサポーターが充実した活動を行えるよう、施設内の受け入れ体制が不十分である</p>	<p>○がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーターを受け入れるための病院の体制準備を行う 1)2020年度第11回情報・連携部会「コロナ下でのサロン運営を含めたピアサポート活動支援について」検討内容を参考に、オンラインサロン開催のサロン運営を導入している施設を5施設設ける(目標達成期日2022年1月) ①2021年12月情報・連携部会で実施状況を確認する ②オンラインサロンの開催を推進するにあたり、各病院で共通事項(事前の病院来回し・交渉、参加者への周知方法等)をとりまとめ、オンライン開催にあたっての規則・基準や開催手順・マニュアルを作成する ③情報・連携部会事務局へ提示しブラッシュアップを行う 2)国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3施設設ける(目標達成期日2022年3月) 3)施設内でがん相談支援センターと連携してピアサポートを行っている先駆的な好事例を紹介する(目標達成期日2022年3月)</p>	<p>2022年4月</p>	<p>○ △</p>	<p>概ね達成 概ね達成 概ね達成 未達成 未達成 未達成</p> <p>1)①2021年10月時点で兵庫県立がんセンター、神戸大学附属病院、姫路赤十字病院の3施設がオンラインにて患者会を開催していることを公表している。12月11日連携部会では、上記3施設以上が開催や準備をしているため、目標は達成とする。課題としては、開催した施設でも参加者が少なく中止したとの施設もあり、次年度も継続して取り組む必要がある。 ②③今年度ピアサポーター養成研修のためのオンラインマニュアル作成しており、フォローアップ研修今後オンラインにて開催する際使用した。今後もオンライン開催時、マニュアルとして土台にできると考える。 2)国標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を、2022年3月に兵庫県疾病対策課の年度末調査をもって確認する。 3)先駆例を紹介する取り組みはできていない。研修に時間と労力を注力したため取り組む余裕がなかった。</p>	<p>概ね達成 概ね達成 概ね達成 未達成 未達成</p> <p>○がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーターを受け入れるための病院の体制準備を行う研修においてファシリテーターの役割を担える人材を育成する オンライン患者サロンを開催している病院が8施設以上になる オンライン開催にあたっての規則・基準や開催手順・マニュアルを作成する 1)オンラインサロン開催にあたっての規則・基準や開催手順・マニュアルを作成する 2)ピアサポーター研修終了後がん相談支援センターと協力して活動できている好事例の紹介 情報・連携部会運営Gと連携し、がん相談支援センターと連携してピアサポートを行っている先駆的な好事例を紹介する時間を計画する 4)2022年度兵庫県情報連携部会12月開催部会(ピアサポーターとの交流・連携を図る目的)について小グループ④と協力して開催する。</p>

⑤質向上を推進する人材育成Gの必須業務	①相談員研修の開催、実施 ②認定がん専門相談員の育成 ③がん相談指導者研修への受講生の派遣 ④県内の相談員の資格取得と研修修了状況の把握 ⑤その他、質向上を推進する人材育成に関すること				
県内のがん相談支援の質向上を推進する人材を継続的かつ計画的に育成する	1. 県内の相談員の研修修了状況が把握できていないため研修参加や認定申請への働きかけが行いにくい 2. 資格取得及び研修修了状況を確認するシートを作成し、情報連携部会MLと相談支援実務者MLにメールする。シートの目的、情報提供のお願い、今後の予定、人材育成の計画を検討いただくことを伝える(～3月) <研修参加への働きかけ> 3) 国立がん研究センターがん情報サービスのHPに、「指導者研修」「国立がん研究センター認定がん専門相談員」の募集要項が発表されたら、上記の2つのMLにメールで知らせ(募集要項を添付するまたはURLを添えてメールする)、指導者研修参加希望施設を募る。 ①指導者研修に参加希望施設は、情報連携部会で後日確認し、調整することを伝える(3月中旬) ②3施設以上の応募があれば、基準にそって優先順位をつける。部会長に確認をうけ推薦を得る ③調整結果を、上記2つのMLを通して、部会員と相談支援実務者にお知らせする	2月 3月 3月		10/28 WEBにてグループ会議実施 12月までに事務局メンバーにアナウンス内容について意見をいただき、12月の部会で承認を得た ・項目内容は前年度と同じ内容で作成。 ・<シートについて><今後の部会の動きについて>は踏襲する 担当病院が一括してとりまとめを行い、個人データの取り扱いについてルール化した。 3.の改善の在り方を参照	継続 マニュアルを適宜追記・修正していく 3.参照
2. 兵庫県内の国指定の拠点病院で認定がん専門相談員が充足していない	1) 9月の情報連携部会会議で相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修)を開催する 2022年度研修について ①(11月～12月)指導者研修修了者と連携して、担当者、役割分担、テーマ、講師など企画の検討を行い決定する ②(12月)リーダーは事務局会議で研修企画を報告し、部会の承認を得る ③(～2月)講師を別で呼ぶ場合、協議会に予算申請の相談と講師打診 ④(～5月)Ⅲ群登録申請に必要な内容を確定させる(研修名、研修日、開始終了時刻、場所、募集定員、解決課題、研修目的、学習目標、対象(職種と地域)、形式、講義内容、演習内容、内容分類、プログラム、評価方法、研修企画者、研修企画者の指導者研修受講歴、講師名、研修の位置づけなど) ⑤(6月)開催案内、次第、申し込み用紙、アンケートを作成、Ⅲ群登録申請内容と合わせて県立がんセンターに送る。 県立がんセンターは研修に関する資料をまとめて院内決裁をとる。 決裁終了後、国立がんセンターにⅢ群登録申請登録を行う。 ⑥(～6月)事務局会議で、相談員研修準備の進捗を報告する ⑦(7月初旬)研修案内・研修参加者の募集を行う ⑧(8月初旬)参加者一覧表の作成・研修レジュメ発送 ⑨(8月、9月)ZOOMで行う場合、ファシリテータと打ち合わせ ⑩研修の運営: 研修の進行方法の検討、当日の司会進行・WEBホスト: 小集団5Gと指導者研修受講者(研修修了者)が連携して行う ⑪アンケート作成・集計: 指導者研修受講者(研修修了者) (研修修了後) ・1週間以内: 研修報告書(案)作成→参加者にMLで送信(内容確認・追加修正)→報告書作成→報告 ・(●まで)既定の報告書に沿って、国立がんセンターへweb報告 ・1か月以内: 県立がんセンター内報告書提出 ・がんセンター押印のうえ、修了書郵送 2021年度 活動計画承認後、県立がんセンター・指導者研修受講修了者(研修企画者)・小集団5Gが連携し企画の検討・計画を決定し、6月までに事務局に報告・承認を得て、情報連携部会に提案・承認を得る。6月以降の活動計画は上記同様	11～12月 12月 ～2月 ～5月 6月 ～6月 7月初旬 8月初旬 8～9月 ～6月		1) 9月の情報連携部会会議で相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修)を開催する 企画者から、企画当初から複数回にわたり相談連絡報告いただいた 研修企画者により適時報告があり、リーダーから報告する機会はなかった。 今回の研修ではがんセンターの人材を講師にしたため、不要 企画者から、事前登録内容の文書を受け取り、登録した。 7/2 決済に回す資料を県立がんセンターに提出 <必要書類>企画書・開催案内・参加申込書・開催次第・修了書・その他研修に関するもの一式(ポスターや事前課題もあれば入れる) 7/5 藤野幹事長、承認 →決裁へ 7/9 木澤部長、承認 →募集開始 7/16 Ⅲ群登録 登録後に、研修番号が国がんから発行。ネットで確認が必要。 7/9に配信(7/20×切) 7/16にリマインドメール配信 ×切後に申込あり個別対応した 8/17 事前資料を参加者全員に個人宛に配信 数件のメールエラーがあった→情報連携部会MLで再配信 9/18 追加の案内と配布資料の配信 事前課題の容量が大きかったこともあり、受講する際にサーバー内の容量を減らすなど作業が必要だった。 Googleグループを利用した。 9/8 ZOOMのお知らせを配信 ファシリテータ事前打合せを2回行い、共通認識を図る意見交換を丁寧にした。企画者は研修内容を変更、ガイドの追加など工夫を行った 研修の詳細の確認およびファシリテータ打合せは、少し余裕をもって開催する ・5グループ内でZOOM操作の練習を遠隔操作で行った ・指導者研修企画者、がんセンター、研修担当病院と関連する病院が多く、情報共有や連絡事項が交錯した。次年度は、交通整理が必要と考える ・②情報・連携部会運営Gに予備のミーティングIDを準備していただき、トラブル時に即対応できるように、グループ分けなども設定しバックアップ体制をとっていただいた ・協議会事務局にZOOM利用申請 グループワークの事前振り分けを行った。 9/15 研修報告書をMLで送信 議事録と一緒にアンケート結果もMLで送付(近畿中央) 9/28 押印を押して、参加者施設ごとにまとめて郵送。代表者に送るので院内で配布いただきたい旨、メールした 10/19 企画者から、国立がん研究センター報告書の内容をうける 10/20 提出 10/27 相談員研修議事録、参加者一覧、国がんへの報告書、当日研修資料などをまとめて院内に報告書作成、提出 2021年度は、2020年度研修企画メンバーが2年連続の企画。5Gが企画の検討・計画のうえでの連携はなかった。 6/15 情報連携部会に提案・承認を得た	継続 情報共有にするにあたり、連絡系統の整備が必要。 今後、WEB会議の場合、⑤グループのみで行うのか、バックアップ体制をどうするのか、WEB会議の設定、作業は②情報・連携部会運営Gに依頼した方が良いのかなど、検討が必要。 今年度開催関連事務作業は1病院で担当。1病院で担うには負担は少なくはない。2病院で担当するかなどの検討が必要。 マニュアルについては、適宜修正・追記していく。
3. 県内の相談支援の質向上を推進する人材(指導者研修修了者等)が少ない	1) 計画的に指導者研修に受講生を派遣するため、1. の情報を活用する 2) 研修参加施設募集・調整について 国立がん研究センターがん情報サービスのHPに、「指導者研修」の募集要項が発表されたら、上記の2つのMLにメールで知らせ(募集要項を添付するまたはURLを添えてメールする)、指導者研修参加希望施設を募る。 ①指導者研修に参加希望施設については、後日 情報連携部会で調整することを伝える(3月中旬) ②3施設以上の応募があれば、基準にそって優先順位をつける ③部会長に確認をうけ推薦を得る ④調整結果を、上記2つのMLを通して、部会員と相談支援実務者にお知らせする * どの施設からも手上げがない場合、1の情報をもとに、参加可能な状況かどうか、実務者にインフォーマルに声を掛ける * 目標: 3名/組 1組/年 * 指導者研修修了者が新規研修参加者に情報の申し送り、サポートが行えるよう整える 3) 指導者研修修了者、認定がん専門相談員の活用 ①部会での意見交換が活発に行えるようにファシリテーターの役割を担っていただく ②ファシリテーターは当日の役割分担として担っていただく、事前に打ち合わせを行い不安なく力を発揮いただけるようにする	6月、9月		・6月の情報連携部会で認定がん専門相談員申請についてパワーポイントを使用し説明を行った ・9月にメールにて、Ⅲ群研修について主にアナウンスを実施 ・10月 認定がん専門相談員申請の募集開始前に、単位取得研修についてと募集期間のアナウンスを実施。 認定取得への関心を持ってもらうためには、単発のアナウンスではなく、定期的にアナウンスをしていくことは必要だった。 今年度は相談員研修企画者が、研修後のアンケートで確認されており、人材育成グループでの確認は実施していない。	継続 申請のきっかけになるような、継続したアナウンス方法の検討が必要。 (案) 認定がん専門相談員の方に、申請までのアドバイスや経験を伝えていただく機会を設けるなど 継続 検討していく
4. 情報連携部会として、県内の相談支援の質向上を推進する人材を育成するために各種の取り組みを継続できるような経験の蓄積が不足している	1) 小集団の事業継続性を高めるため、マニュアルを整備する ①(6月まで)マニュアル(案)作成 ②研修の運営、研修受講への働きかけ、ファシリテーターへの説明を行いながら1年を掛けて修正を行い、年度末に完成させる	～6月 3月		12月の事務局会議で、3月の情報・連携部会で、参加施設を募るアナウンスをすること、希望施設がない場合は、インフォーマルで声掛けしていくことについて承認を得た。 3) 指導者研修修了者、認定がん専門相談員の活用 今年度、ファシリテーターの依頼、事前打ち合わせについては、相談員研修の企画者の方が担ってくださった。	継続 マニュアルを適宜追記・修正していく 継続 実践の中で修正・追加を行う

《令和4年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和4年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
情 報 連 携 部 会	①目標・情報管理G				最終 2023年3月				
	①目標管理や情報一元化の活用の促進に努め、相談支援体制の機能強化や情報の共有化を図る	PDCAチェックリストの活用や、各病院における相談支援部門の活動の自己評価、目標管理が定期的実施されていない	目標管理を取りまとめる ・各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価と質向上に向けた改善結果を取りまとめる ・兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会のPDCA評価表の取りまとめを行う						
	②事務局会議の効率的な運営を図り、兵庫県内のがん相談支援センター間の円滑な連携調整、情報・連携部会会議における課題の確認・明確化を行う	相談支援に係る情報の整備が実施されていない。 事務局の効果的な運用が実施されていない。	相談支援に関する情報を1年に1回更新し、協議会HPに掲載する 事務局会議を毎月開催し、効果的な運営を検討する 業務マニュアルの追加修正を行い、人が変わっても業務が継続できるようにする						
	③県内のがん相談支援の質向上を推進する人材を継続的かつ計画的育成する	兵庫県内の国指定の拠点病院で認定がん専門相談員が充足していない 県内の相談支援の質向上を推進する人材(指導者研修修了者等)が少ない 県内の相談員の研修終了状況が把握できていないため研修参加や認定申請への働きかけが行いにくい	継続して、認定がん専門相談員の育成を図る がん相談指導者研修への受講生の調整 相談員の資格と研修修了状況の把握を1年に1回行う						
	②情報・連携部会運営G				6月・10月 ・12月・3月				
	がん相談支援センターのPDCA実施結果をふまえ、課題の確認、明確化を行い、また国の政策や動向を見据えた課題についても取り組みが進められるよう、情報連携部会を企画・運営する	情報・連携部会のPDCAサイクルより、継続して取り組む課題(就労支援、ピアサポート、相談員の質向上・指導者の人材育成)がある COVID19の影響によりオンライン会議が主流となった 年度途中で国の政策などにより新たな課題が出てくる可能性がある	1. 課題達成に向け、各グループと協働して部会を年4回開催する 6月:就労支援、10月:がん相談員研修、12月:ピアサポート、3月:PDCA評価 2. 要綱、部会運用マニュアル(初版)を活用し、部会開催毎に修正を行い改良を重ねる Zoomマニュアルを活用し、オンライン(ZOOM)形式の会議を開催 マニュアルのブラッシュアップ 都道府県拠点病院である県立がんセンターと情報共有を行い、課題が生じれば必要に応じて会議の内容を変更・再検討する						
	③就労支援推進G				3月				
	がん患者の就労支援を行うための継続的な支援体制を作る		県下の就労支援の現状と課題分析から、ボトルネックを明確にし改善を図る がん診療連携拠点病院受診前の離職防止に向け、関係機関と取り組みを検討する ハローワークとのオンライン面談の実現化						
	④ピアサポート育成活用G				2023年2月				
	がん患者のピアサポーターの体制づくり・継続教育を支援する	がん患者のピアサポートに取り組むピアサポーター(人材)が質・量ともに充足していない	兵庫県疾病対策課と連携して、ピアサポーターを育成する ・兵庫県がんピアサポーター養成研修開催(8月～9月) ・兵庫県がんピアサポーターフォローアップ研修開催(12月) 兵庫県内の各地域からピアサポーター養成研修への参加が増えるよう広報する ピアサポーター同士の交流がもて、ピアサポーターのモチベーションがアップするような研修を検討する						
	がんピアサポーター関連の研修を担う相談員の人材が不足している	研修開催できる人材(ファンリテータ)の育成と体制の構築 兵庫県で開催する研修の見学募集 JPOS開催のがんサポートグループ企画運営者のための研修会への計画的な参加 講師の輪番制 研修運営の評価、マニュアル類の見直し							
	ピアサポーターが充実した活動を行えるような体制が構築できていない	がん患者のピアサポーターを受け入れる病院の体制準備を行う オンライン患者サロンの拡大や患者サロンの立ち上げを進める(目標値:オンラインサロン8施設以上) オンライン開催にあたっての規則・基準や開催手順・マニュアル作成 ピアサポーターとがん相談員が協力して活動できる好事例の収集	2023年3月						
	兵庫県がんピアサポーター登録者との連携体制が構築できていない	兵庫県のがんピアサポーター登録者との連携体制を構築する(兵庫県と協力)							

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
令和3年度の活動報告	<p>○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 開 催 日：6月28日 (Web開催) 議 事：全国がん登録関連の動き 院内がん登録情報を用いた施設のがん患者カバー率集計について 院内がん登録 令和3年度の情報提供 がん登録の概要 参 加 者：41施設 49名参加</p> <p>○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回院内がん登録実務者ミーティング 開 催 日：11月19日 (Web開催) テ ー マ：2018年症例以降の登録ルールの変更について、多重がんルールの概要 講 師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子 氏 参 加 者：60施設 129名参加 ・ 第2回院内がん登録実務者ミーティング 開 催 日：2月9日 (Web開催) テ ー マ：兵庫県がん診療連携協議会HP公表案について 兵庫県で登録数が多い3大がん(大腸・肺・胃)の病期・治療法別2019年集計結果 全国がん登録の予後情報還元申請方法と申請に必要な院内整備等について (集計結果は、「兵庫県がん診療連携協議会」HP内のがん登録情報として公表(※「別表」参照)) 参 加 者：40施設 67名参加 ・ 院内がん登録事務局会議 開 催 日：2月9日 (Web開催) テ ー マ：次年度からのミーティング内容と開催当番について 参 加 者：20施設 22名参加 <p>○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開 催 日：5月31日 国立がん研究センター (Web開催) 報告事項：全国がん登録の動き、院内がん登録全国集計データの活用について 等 議 事：院内がん登録カバー率の施設別公表について</p> <p>* 全国がん登録実務者研修会の開催 開 催 日：12月20日～1月20日 (動画配信) テ ー マ：全国がん登録の実務～活用できるがん統計作成のために 講 師：国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部長 松田 智大 氏 視聴回数：371回</p>
令和4年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 6月28日 14:00～ (Web開催) 予定</p> <p>○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催(年2回) 予定 第1回 講義形式 11月14日 (Web開催)、第2回 院内がん登録集計報告等 (2月予定)</p> <p>○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 4月27日 国立がん研究センター (Web開催)</p> <p>* 全国がん登録に関する研修会の開催 開催時期、内容未定</p>

別表

兵庫県がん診療連携協議会協議会HP 院内がん登録情報

2019年症例 施設別 部位別がん登録件数

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

■大腸 ■肺 ■胃 ■乳房 ■前立腺 ■血液がん ■膵・胆道 ■子宮 ■膀胱 ■肝臓 ■その他

0 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 2000 2200 2400 2600 2800 3000 3200 3400 3600 3800 件

《阪神》

- 近畿中央病院 754
- 関西ろうさい病院 2,312
- 兵庫医科大学病院 2,856
- 市立伊丹病院 1,186
- 県立尼崎総合医療センター 2,176
- 県立西宮病院 1,026
- 西宮市立中央病院 589
- 宝塚市立病院 1,416
- 三田市民病院 845
- 市立川西病院 403
- 兵庫中央病院 99
- 明和病院 844
- 市立芦屋病院 490

《但馬・丹波》

- 公立豊岡病院 1,142
- 県立丹波医療センター 654
- 公立八鹿病院 291

《神戸》

- 神戸大学医学部附属病院 3,727
- 神戸市立医療センター中央市民病院 3,263
- 神戸市立西神戸医療センター 1,821
- 神鋼記念病院 1,202
- 神戸医療センター 655
- 神戸赤十字病院 638
- 神戸中央病院 622
- 川崎病院 355
- 神戸市立医療センター西市民病院 1,108
- 済生会兵庫県病院 303
- 神戸労災病院 221
- 新須磨病院 629
- 甲南医療センター 761
- 神戸低侵襲がん医療センター 1,248

《東播磨・淡路》

- ★県立がんセンター 3,342
- 県立淡路医療センター 1,073
- 加古川中央市民病院 2,409
- 県立加古川医療センター 978
- 明石医療センター 937
- 明石市立市民病院 484
- 高砂市民病院 317

《北播磨・播磨姫路》

- 姫路赤十字病院 2,554
- 姫路医療センター 1,854
- 赤穂市民病院 459
- 西脇市立西脇病院 502
- 製鉄記念広畑病院 774
- 北播磨総合医療センター 1,423
- 姫路中央病院 335
- 姫路聖マリア病院 759
- 市立加西病院 259
- 県立粒子線医療センター 306

小児拠点病院

0 20 40 60 80 100 120

県立こども病院 100

■血液 ■脳神経 ■その他

幹事会資料 2022.6.16

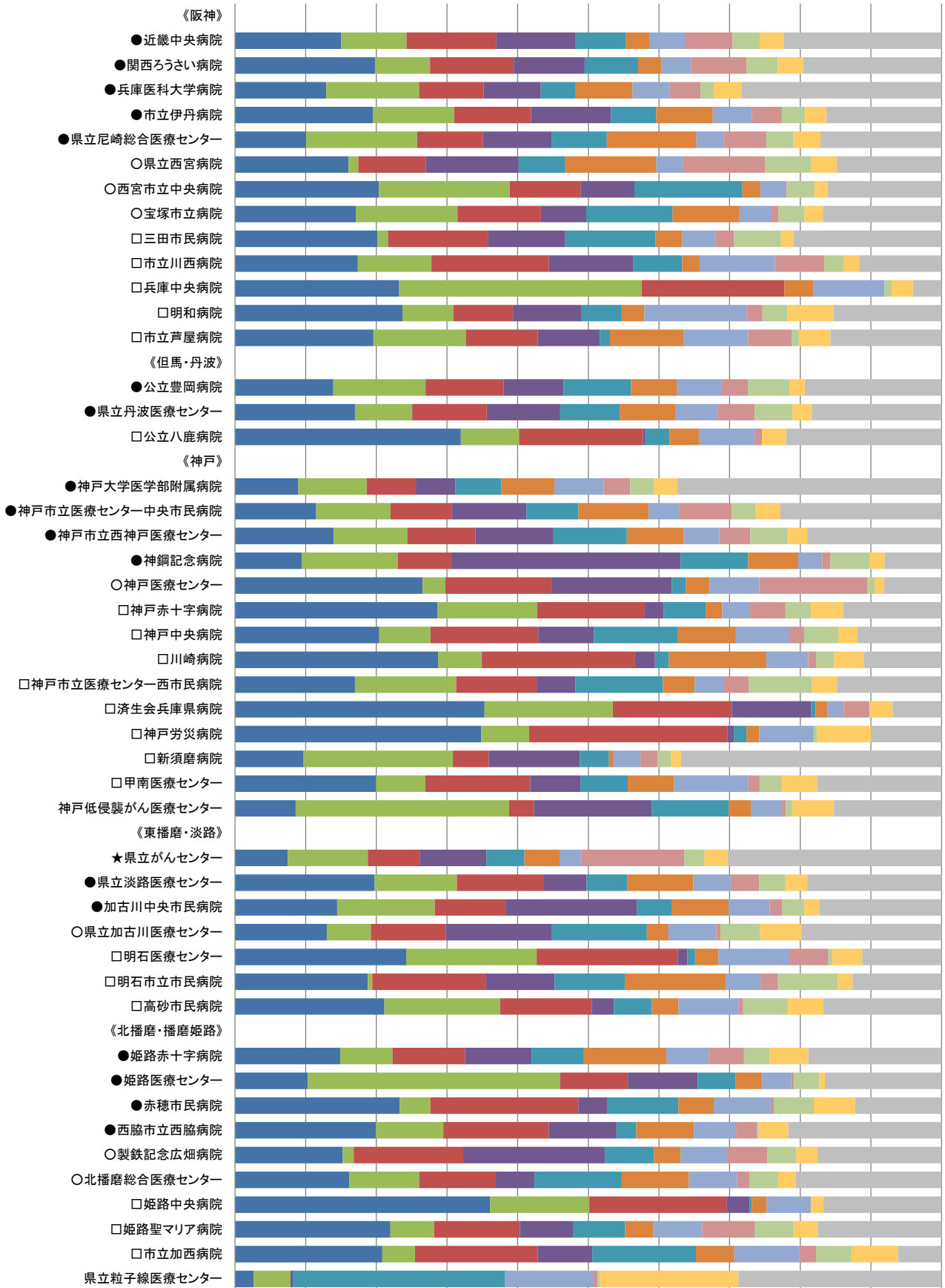
兵庫県がん診療連携協議会協議会HP院内がん登録情報 2019年症例 施設別 部位別がん登録割合

別表

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

■大腸 ■肺 ■胃 ■乳房 ■前立腺 ■血液がん ■膵・胆道 ■子宮 ■膀胱 ■肝臓 ■その他

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



小児拠点病院

●県立こども病院

■血液 ■脳神経 ■その他

0% 20% 40% 60% 80% 100%

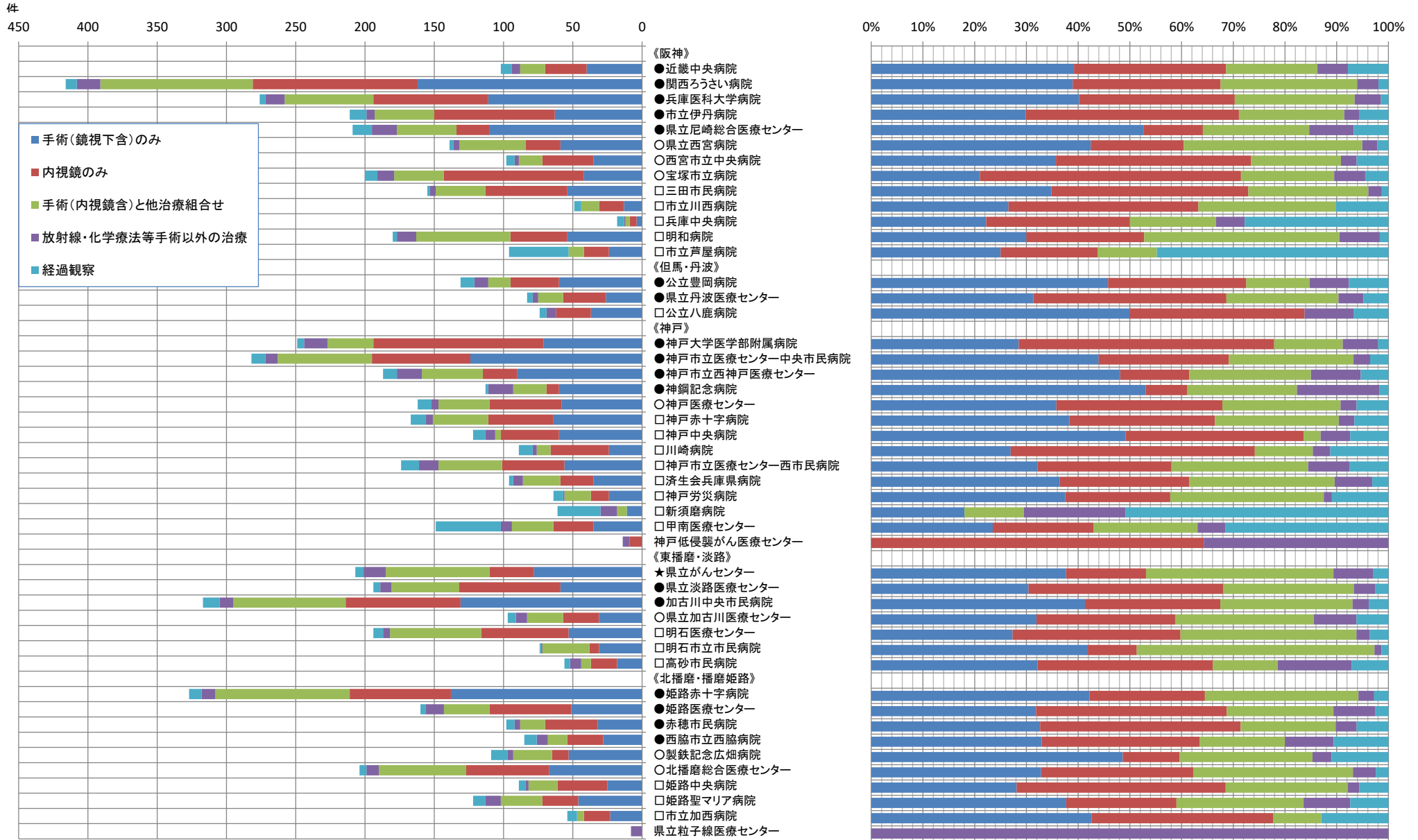
2019年症例 大腸癌

施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計=6,761件
 手術(鏡視下含)のみ2,470件
 内視鏡のみ=1,921件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ=1,580件
 放射線・化学療法等手術以外の治療=374件
 経過観察=416件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表



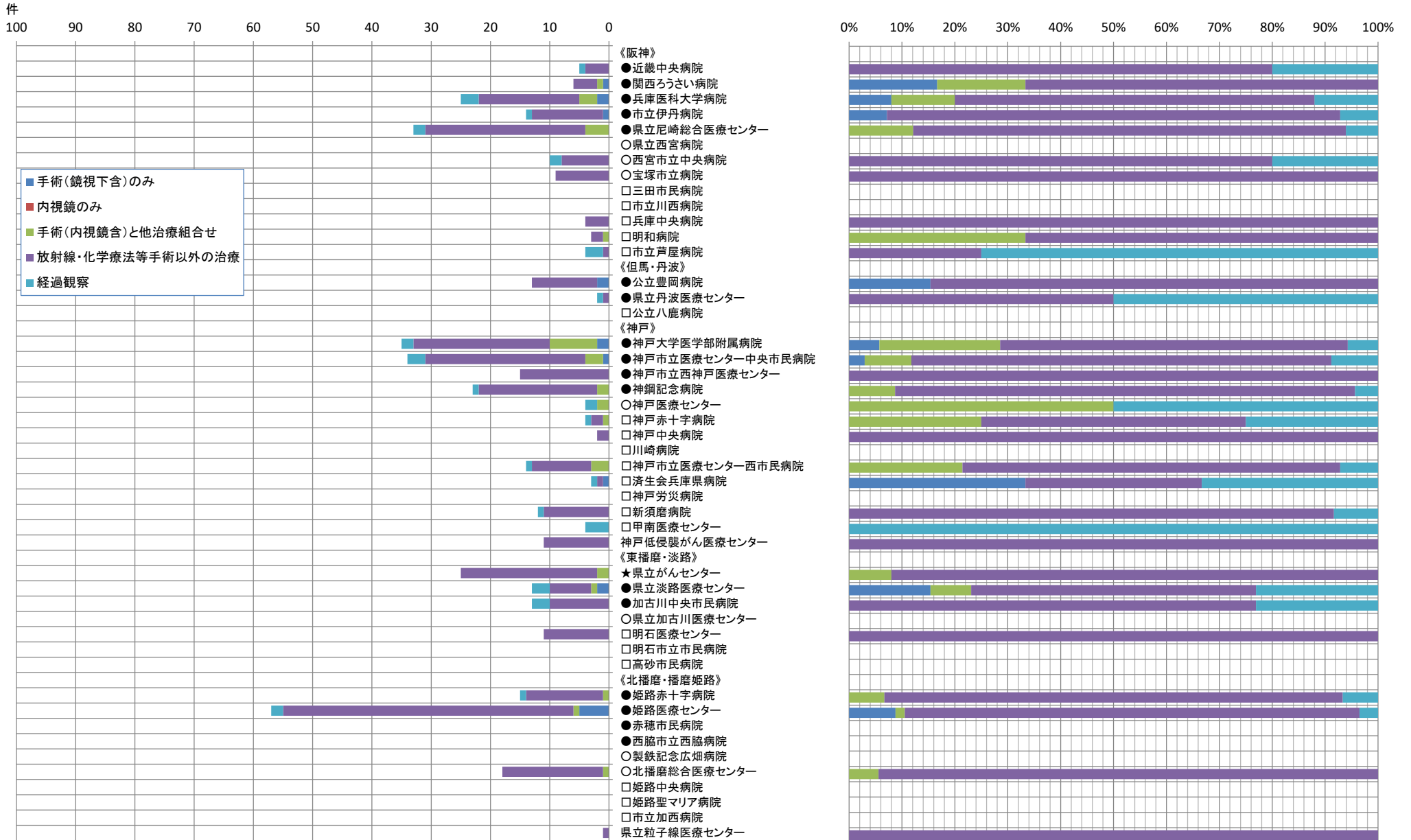
※神戸大学病院の治療法別院内がん登録数については、10件未満は中央値で集計されています。

2019年症例 小細胞肺癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計=442件
 手術(鏡視下含)のみ=17件
 内視鏡のみ=0件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ=34件
 放射線・化学療法等手術以外の治療=353件
 経過観察=38件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表



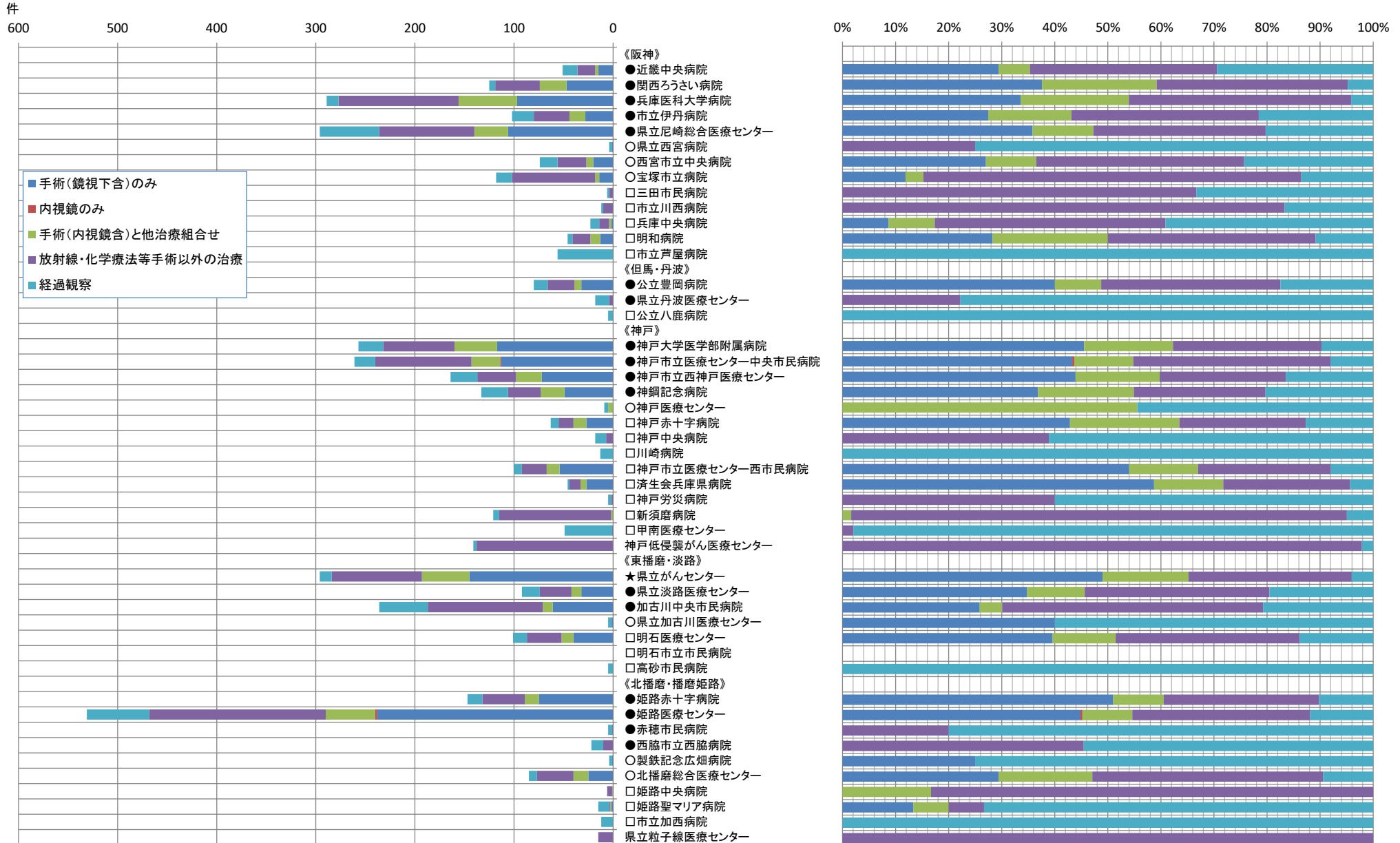
※神戸大学病院の治療法別院内がん登録数については、10件未満は中央値で集計されています。

2019年症例 非小細胞肺癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計=4,262件
 手術(鏡視下含)のみ=1,454件
 内視鏡のみ=3件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ=491件
 放射線・化学療法等手術以外の治療=1,620件
 経過観察=694件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表



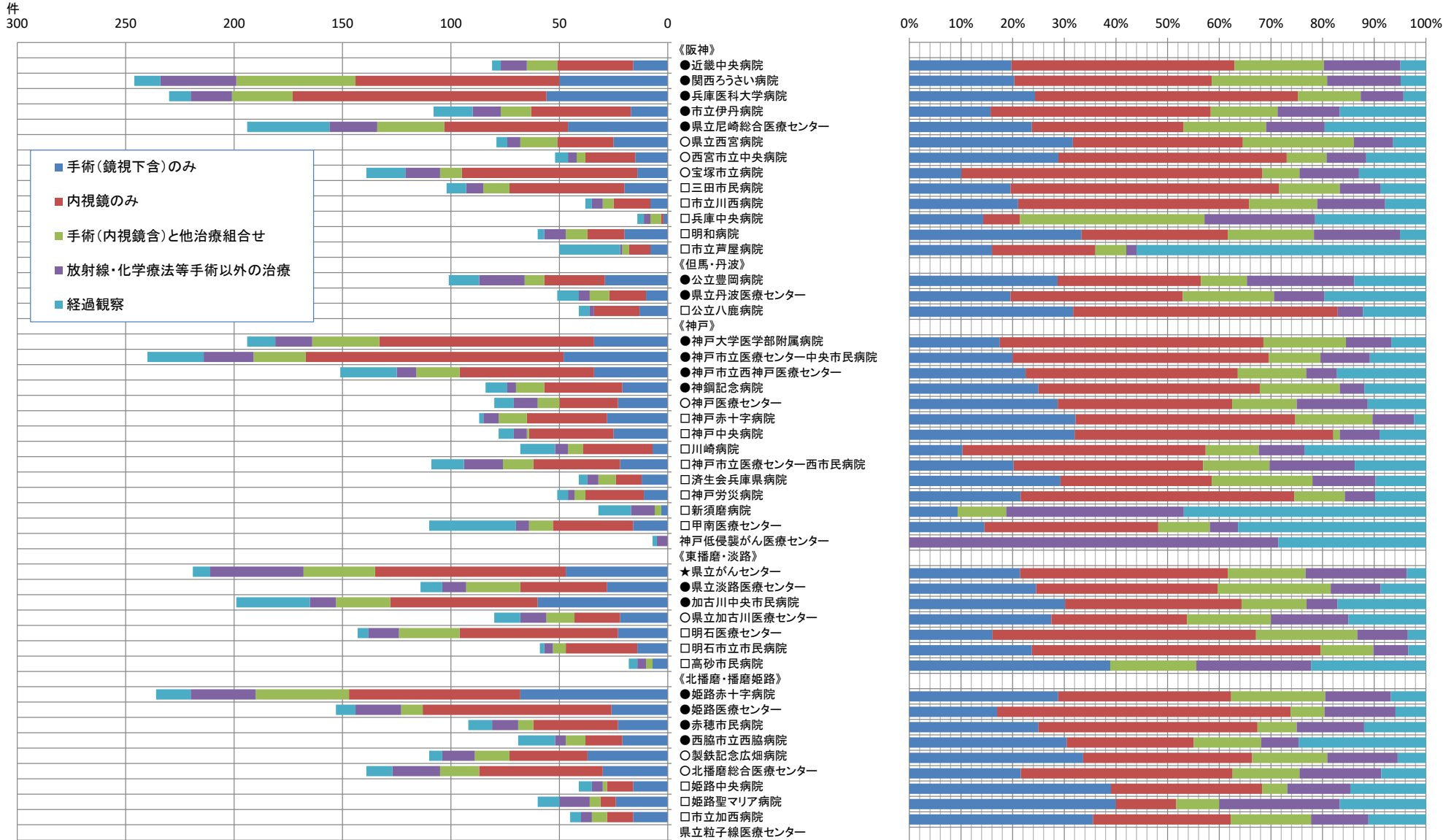
※神戸大学病院の治療法別院内がん登録数については、10件未満は中央値で集計されています。

2019年症例 胃癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計=4,695件
 手術(鏡視下含)のみ=1,095件
 内視鏡のみ=1,879件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ=636件
 放射線・化学療法等手術以外の治療=542件
 経過観察=543件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表



※神戸大学病院の治療法別院内がん登録数については、10件未満は中央値で集計されています。

《令和3年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和4年3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、 院内がん登録のデータを活用し、 登録数や各治療法についてのがん種別 件数をホームページ等で情報公開する よう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協 議会のホームページにおいて加盟病 院別の件数・割合を掲載しており、 2015年症例より、施設別の院内 がん登録数及び胃、肺、大腸がんの 治療法件数・割合を掲載しているが、 より患者のニーズに対応した掲載 内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、 情報の取り扱いに配慮しながら、 県がん診療連携協議会がん登録部 会及びその下部組織であるがん登 録実務者ミーティング等で検討を 重ねていく。 検討結果について、加盟病院に 了解を得られたデータ等を協議 会ホームページに掲載する。	令和4年3月	○	達成	がん診療連携協議会のホーム ページに、がん登録部会の院内 がん登録実施施設の2019年院内 がん登録数と大腸・肺・胃がんの 施設別治療法集計データを掲載 した。 (この集計は、がん登録実務者 ミーティングで検討を重ね、令 和4年2月に開催された兵庫県 がん診療連携協議会幹事会で 公表を承認されたものである。)	継続	来年度もがん登録部会・実務 者ミーティングで検討しながら 2020年・2021年診断症例の 情報収集に努め、兵庫県の がん診療や県民に役立つ情報 提供を行っている。
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の 推進に関する法律が施行され、 院内がん登録実務者のレベル アップが課題となっている。	年2回(11月、2月)、がん登 録実務者ミーティングを開催 (うち1回は講義形式)し、 がん登録に係る知識向上、 情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究セン ターが開催する初級者認定 試験や初級者・中級者研修 や更新試験、データ集計・ 分析研修に積極的に参加し 技能を磨く。 (全国がん登録セミナー など研修にも参加する。)	令和4年3月	○	達成	院内がん登録実務者ミー ティングを2回(11/19、 2/9)WEBで開催した。 ・第1回目:60施設129 名参加 ・第2回目:40施設67 名参加 また、がん登録部会にお いて、国の全国がん登 録関連の動きを伝達す るとともに、全国がん 登録実務者研修として 動画配信を実施した。	継続	年2回(11月、2月)、 がん登録実務者ミー ティングを開催(うち 1回は講義形式)し、 がん登録に係る知 識向上、情報共有 等を図る。
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	各拠点病院等は、 県への情報還元申 請に慣れていない。	各拠点病院等が円滑に 県へ情報還元申請が できるよう、がん登 録部会等で情報共有 を図る。	令和4年3月	○	達成	第2回院内がん登 録実務者ミーティ ングにおいて、全 国がん登録情報の 予後還元方法等 についての説明 を実施した。 *3病院が県へ 情報還元申請済 (R4.3現在)	継続	引き続き、各 拠点病院等が 県への全国 がん登録情報 の予後情報 還元申請を 円滑に行える ような支援 を継続する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《令和4年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和4年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合を掲載しており、2015年症例より、施設別の院内がん登録数及び胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	令和5年3月					
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(11月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも参加する。)	令和5年3月					
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	各拠点病院等は、県への情報還元申請に慣れていない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、がん登録部会等で情報共有を図る。	令和5年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項 目	内 容
令和3年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和3年12月10日 Web開催) ○ 緩和ケア研修会の開催 ○ 緩和ケア研修会指導者の会 (令和4年1月22日 Web開催) 28名参加 ○ 緩和ケア部会・地域連携部会 合同セミナー (令和3年6月24日 Web開催) 66名参加 (テーマ: Webによる退院前カンファレンスを始めるために) Web退院前カンファレンス検討のためのメーリングリスト作成 ○ 第12回兵庫県緩和ケアチーム研修会 市立伊丹病院 担当 (令和4年1月22日 Web開催) 87名参加 (テーマ: チーム医療を推進するメディカルコーチング) ○ 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (令和4年2月27日 Web開催) 39名参加 (テーマ: 重篤な疾患を持つ患者さんとの話し合いの手引き 講師 木澤義之) ○ 緩和ケア部会コアメンバー会議 池垣淳一、木澤義之、岡山幸子、西本哲郎、 福永智栄、堀謙輔、坂下明大(神戸大学)、濱中章洋(淡路医療)、 伊藤由美子(がんセンター) (令和4年1月4日 Web開催) 7名参加 (令和4年3月16日 Web開催) 9名参加
令和4年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (未定) ○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年4回開催予定: 6月、9月、12月、2023年3月 Web開催予定) ○ 緩和ケア研修会の開催 4月HP掲載済み ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (毎月第1金曜日17:30~18:30 Web会議) ○ 小集団活動の運営(詳細について今後検討予定) ○ 第13回兵庫県緩和ケアチーム研修会 西神戸医療センター 担当(未定) ○ 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 日程: 12月11日(日)13時~16時、 講師: 筑波大学 木澤義之 教授 開催形式: Webセミナー(Zoom) ○ 緩和ケア研修会指導者の会 (未定)

《 令和3年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

令和4年3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩和 ケア 部 会	緩和ケアの質の向上	新型コロナウイルスの影響で拠点病院の指定要件である緩和ケア研修会の開催が危ぶまれる23施設が緩和ケア研修会開催予定したが、中止は5施設一部web開催は3施設	緩和ケア研修会の一部Web開催が認められた。令和2年度にWeb開催した施設のプログラム、マニュアルを共有する。完全Web開催についての検討を始める。	令和4年3月	○	達成	完全Web開催した施設の開催報告をグーグルスプレッドシートで共有した。 https://docs.google.com/spreadsheets/d/1ELpsZP52VOKXYmeO-1Eq7lSB00H3PVnRiO3ix4kFT_E/edit?usp=sharing	完了	緩和ケア研修会の対面開催が困難であれば、引き続き経験を積み重ねWeb開催の質を高める
	緩和ケアチーム診療機能の向上	緩和ケアチーム研修会でピアレビューを行っているが、評価方法ピアレビューによる改善が明確でない。	緩和ケアチームのピアレビューを緩和ケアチーム研修会以外の機会で行う事をめざす。病院の緩和ケアチーム間でZOOMなどを用い評価できるようなモデルを作成する。他県で行われているような病院幹部を巻き込む形とはしない。ヨークシャーピアレビューを参考にする	令和4年3月	×	未達成	従来通り、緩和ケアチーム研修会での他施設評価を行った	継続	引き続き検討が必要

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和 4年度 P D C A サ イ ク ル 実 施 計 画 ・ 管 理 表 》

令和 4年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアチーム ピアレビュー	緩和ケアチーム研修会において他施設の状況を知る機会はあるが、緩和ケアの提供体制に関して適切な評価ができていない。	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ①ピアレビューのためのマニュアル作成(7月) ②参加施設の募集(8月) ③ピアレビューの事務局の立ち上げ(9月) ④ピアレビューの実施(10~12月) ⑤ピアレビュー実施後のマニュアル修正(令和5年1月~3月)	令和5年3月					
	がんの痛みに対する インターベンショナル 治療	がんの痛みに対して、インターベンショナル治療を提供する体制が不十分である。	がんの痛みに対するインターベンショナル治療の提供を促進する。 ①ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する(6月~9月) ②インターベンショナル治療へアクセスできるための連携方法について検討する(10月~12月) ③インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する(令和5年1月~3月)	令和5年3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

令和4年度（2022年度） 緩和ケア部会活動計画案

兵庫県がん診療連携協議会緩和ケア部会
兵庫県立はりま姫路総合医療センター

坂下明大

《 令和 4 年度 P D C A サ イ ク ル 実 施 計 画 ・ 管 理 表 》

令和 4 年 4 月 1 日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課 題 名	現 状 の 問 題 点	改 善 の あ り 方	改 善 時 期 (予 定)	D 実 行	C 評 価		A 改 善	
						区 分	実 施 内 容	区 分	今 後 の 改 善 内 容 (計 画)
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアチーム ピアレビュー	緩和ケアチーム研修会において他施設の状況を知る機会はあるが、緩和ケアの提供体制に関して適切な評価ができていない。	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ①ピアレビューのためのマニュアル作成(7月) ②参加施設の募集(8月) ③ピアレビューの事務局の立ち上げ(9月) ④ピアレビューの実施(10～12月) ⑤ピアレビュー実施後のマニュアル修正(令和5年1月～3月)	令和5年3月					
	がんの痛みに対する インターベンショナル 治療	がんの痛みに対して、インターベンショナル治療を提供する体制が不十分である。	がんの痛みに対するインターベンショナル治療の提供を促進する。 ①ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する(6月～9月) ②インターベンショナル治療へアクセスできるための連携方法について検討する(10月～12月) ③インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する(令和5年1月～3月)	令和5年3月					

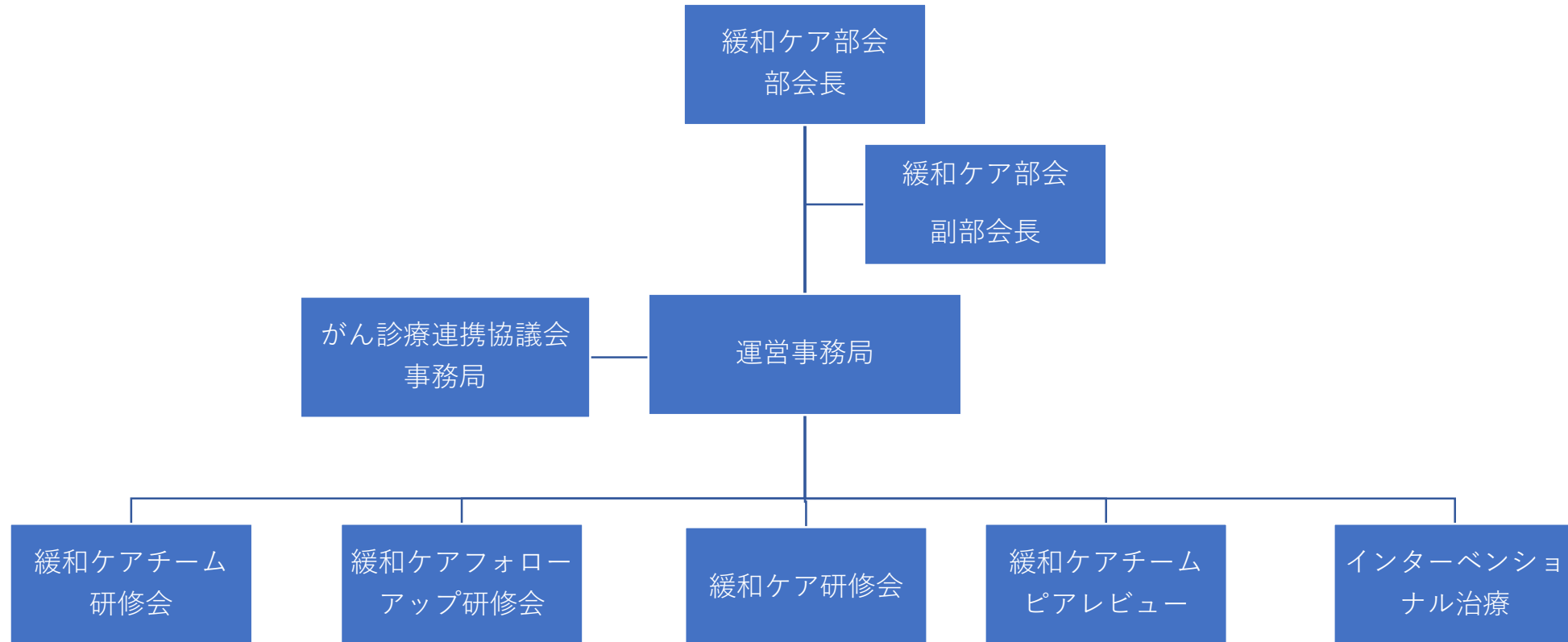
(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

部会運営に関する基本方針

- 県内の緩和ケア提供体制の整備、緩和ケアサービスの質の向上を推進するために、部会活動をさらに活性化させたい。
- 部会会議で、部会の活動計画を立案する。
- 部会会議の頻度を増やし、運営事務局で調整を行う。
- 活動計画に合わせて小集団を形成し、実行していく。

緩和ケア部会の運営組織の改編



緩和ケア部会会議

- 年4回開催 6月、9月、12月、3月
- 開催形式：30～60分程度 Web形式（Zoom）
 - ①6月：部会メンバーの確定、運営体制に関する検討、小集団活動に関する検討
 - ②9月：小集団活動に関する進捗報告
 - ③12月：小集団活動に関する進捗報告、次年度活動に向けての検討
 - ④2023年3月：PDCAサイクルの確認

運営事務局

- コアメンバー会議から運営事務局会議へ変更
- 2022年度については、2021年度のコアメンバー会議のメンバーが継続して担当する
- メンバー：岡山、西本、福永、堀、伊藤、坂下、
(オブザーバー：濱中)
- 基本的には各小集団のリーダーと部会長、副部会長で構成する
- 緩和ケア部会活動の企画、運営を行う。
- 緩和ケア部会のPDCAサイクルの進捗管理を行う。

小集団（SG）活動で企画運営

- 国指定拠点病院についてはSGに必ず参加する。県指定病院、準ずる病院については希望すれば参加可能とする。
- 国指定病院については、第3希望まで聴取し運営事務局にてマッチングを行う。
- 各SGのリーダーは運営事務局のメンバーとする。

SG1：緩和ケアチーム研修会

- メンバー：安藤（西神戸MC）、令和5年度担当
- 国指定病院が持ち回りで担当
- 当該年度、次年度の施設は参加する

SG2：緩和ケアフォローアップ研修会

- 令和4年度についてはSICPをテーマとして開催
- 研修会の企画運営を担当する
- 日程：2022年12月11日（日）13時～16時
- 講師：筑波大学 木澤義之 教授
- 開催形式：Webセミナー（Zoom）
- 募集：Googleフォーム

SG3：緩和ケア研修会

- 緩和ケア研修会に関する課題の抽出や運用方法などについて検討する
- 県内の受講状況などについて情報収集する

SG4：緩和ケアチームピアレビュー

- 緩和ケアチームのピアレビュー体制を構築する
- ピアレビューに関する企画、運営を行う。
 - ①ピアレビューのためのマニュアル作成（7月）
 - ②参加施設の募集（8月）
 - ③ピアレビューの事務局の立ち上げ（9月）
 - ④ピアレビューの実施（10～12月）
 - ⑤ピアレビュー実施後のマニュアル修正（令和5年1月～3月）

SG5：インターベンショナル治療

- 県内のインターベンショナル治療の提供体制について情報収集を行う
- 同治療が実施可能な施設やアクセス方法に関して、がん診療連携協議会HP上で情報公開する

- ①ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する（6月～9月）
- ②インターベンショナル治療へアクセスできるための連携方法について検討する（10月～12月）
- ③インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する

（令和5年1月～3月）

SGのリーダー選出

SG	SG1 : 緩和ケアチー ム研修会	SG2 : 緩和ケアフォ ローアップ研 修会	SG3 : 緩和ケア研修 会	SG4 : 緩和ケアチー ムピアビュー	SG5 : インターベン ショナル治療
リーダー	岡山	伊藤	坂下	堀	福永
担当	安藤			西本	濱中

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項 目	内 容
令和3年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんパスの使用状況につき検討した。令和3年3月末時点におけるアンケート調査を行い、乳がん3,914件、胃がん2,347件、大腸がん1,691件、肺がん1,141件、肝臓がん107件、子宮体がん6件、前立腺がん778件、累計9,984件の地域連携パス利用があった。 ○ 乳がんパスを見直した。 ○ がん地域連携に関し、緩和ケア部会とともに「webによる退院前カンファレンスを始めるために」をテーマに合同セミナーを行った。
令和4年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。 ○ がん地域連携パスの運用上の問題点を抽出する。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出し対応を検討する。

《 令和3年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

令和4年3月31日 現在

部会名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地域連携部会	パス利用の向上	パス利用は必ずしも高くなく、使用する施設が固定化しつつある。均てん化が可能かを検討する。	(1) パスの利用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する (3) 各部会ごとに課題を検討し、課題の解決法を検討する。	令和4年3月	△	概ね達成	兵庫県はがん地域連携パスの活用が進んでいる地域とされる。累積件数は年々増加してきている。しかしここで見ると、high volumeセンターなどでの利用件数が落ちてきている。今後も利用状況を見ていく必要がある。	継続	がん地域連携パスの利用状況を確認し、その利用における課題を検討する
	パス運用上の問題点の検討	既存パスおよび新規パスの運用上の問題点は明らかになっていない。	(1) 新規パスの実施状況と運用上の問題点を明らかにする (2) 既存パスの課題を明らかにし、改善をはかる	令和4年3月	△	概ね達成	新規パスに関しては大きな問題はなかった。既存パスである乳がんパスにおいて、10年まで経過観察される可能性のある患者数が増加しているため、10年パスの作成を作成した	継続	大腸がんESDパスや乳がんパス(10年用)につき実施状況と問題点を明らかにする。既存のパスの問題点も合わせて検討し、改善を図りたい
	がん地域連携の課題の抽出と検討	がん地域連携の課題は必ずしも共有されていない	(1) がん地域連携におけるリモートワークの実態を調べる (2) がんゲノム医療など新規治療に関する情報連携を検討する	令和4年3月	×	未達成	コロナ禍の渦中において遠隔医療は重要である。当部会では、緩和ケア部会とともに癌患者退院前カンファレンスにつきリモートで実例をもとに検討した。	継続	がん地域連携の課題を引き続き検討してゆく

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和4年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

令和4年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	パスの利用の継続と向上	パスの利用は必ずしも均てん化していない。利用施設が偏る傾向がある	1 パスの利用状況を調査する 2 すべての拠点病院で利用数の増加を図る 3 パス利用の課題をアンケートで確認し、必要に応じて情報共有を図る。	令和5年3月					
	パス運用上の問題点の検討	既存パス・新規パス・改訂パスの課題が不明である	1 新規パス・改訂パスの運用上の課題を抽出し必要に応じて改訂を図る 2 既存パスの運用上の課題を明らかにし必要に応じて改訂する	令和5年3月					
	がん地域連携の課題の抽出と検討	がん地域連携の課題は必ずしも共有されていない	1 がん地域連携のリポートによる連携につき実態を把握する 2 がんゲノム医療など新規治療への情報連携の課題を検討する	令和5年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

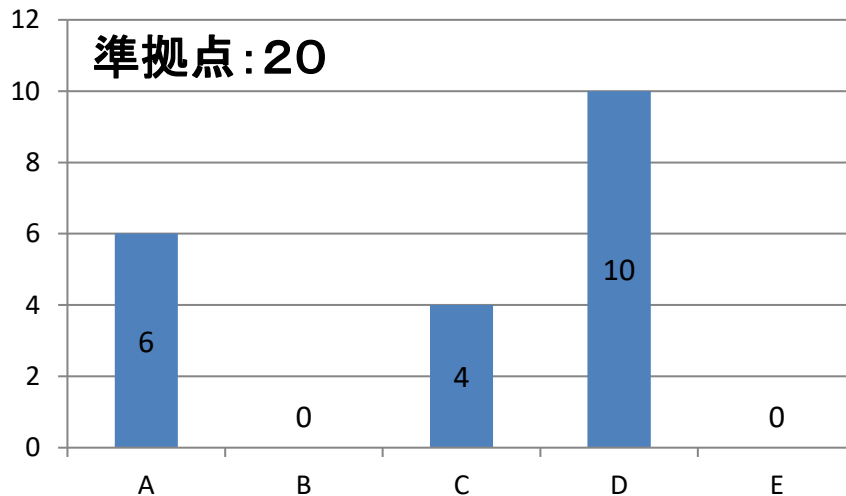
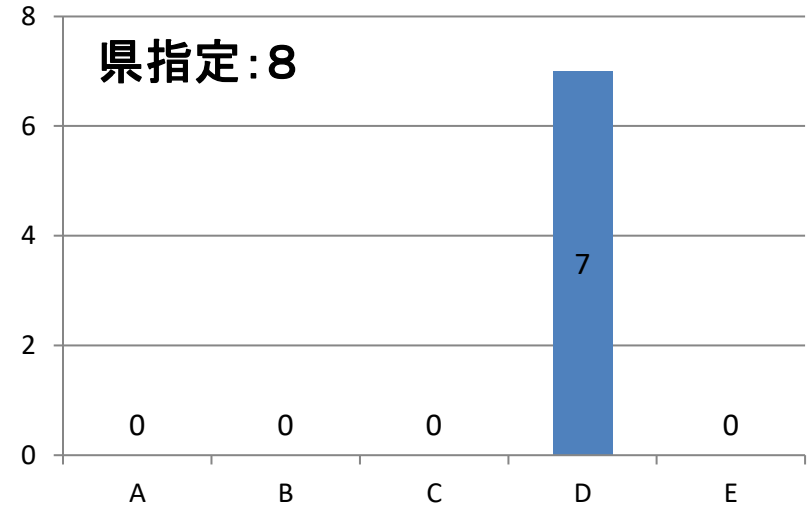
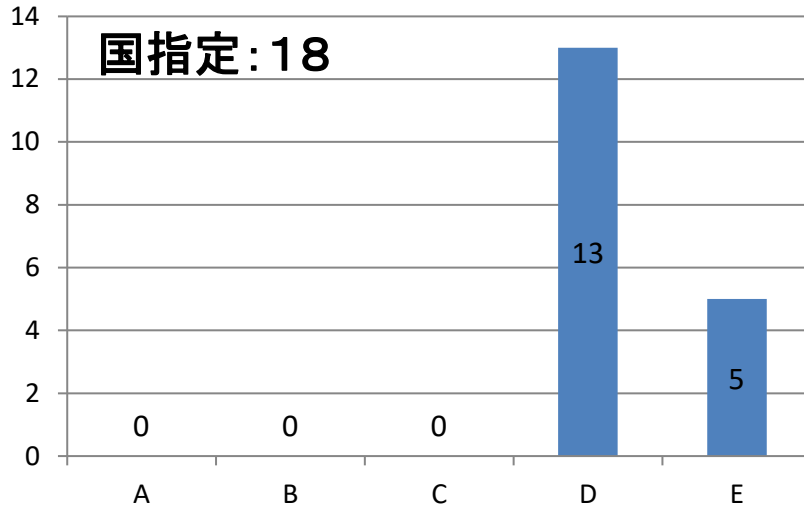
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

がんの地域連携パスについて 報告

- 2022年3月末時点におけるがん拠点病院等47施設にアンケート調査を行った。
- 国指定；18施設中5施設で5大がん全てのパスが稼働中。他の13施設は、少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
- 県指定；5大がん全てのパスが稼働中の施設はなし。7施設で少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
- 準拠点；5大がん全てのパスが稼働中の施設はなし。20施設中、10施設で少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。他は、院内で調整中であるのが6施設、施設基準の届出がはじまっているのが4施設である。
- 承認病院；1施設。院内で調整中である。
- 2021年度の登録件数は**1,403件**となり、2022年3月末時点で累計**11,387件**のパスが運用中。
その内訳は、乳がん**4,274件**（41.5%）、胃がん**2,562件**（22.5%）、大腸がん**1,905件**（16.7%）、肺がん**1,248件**（11.0%）、肝がん**109件**（1.0%）、前立腺がん**833件**（7.3%）、子宮体がん**6件**（0.1%）。
- パス脱落症例は、累計**1,027件**（2021年度115件）。
大きなバリエーション発生症例は、累計**19件**（2021年度0件）であった。
- 兵庫県統一でない5大がんのパスの運用を導入しているのは、1施設であった。

がん診療連携パスの進捗状況

➤ 1. 連携システムの構築・パス進捗状況について



A：院内で調整中である

B：施設基準の届け出前

C：施設基準の届け出が始まっている

D：実際にパスが実動している(少なくとも1種類)

E：5大がん全てのパスが稼働中

がん診療連携パスの進捗状況

累計 11,387

➤ 2-1. パス稼働について (5大がん)

5大がん 兵庫県統一パス登録件数 (2010年4月～2022年3月末の累計)						
	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん
	10548	1248	2562	1905	109	4724
(2021年度登録数)	1348	107	215	214	2	810
(登録数 前年度比)	+95	+1	-34	+28	-1	+101
県立がんセンター	2290	373	469	513	33	902
兵庫医科大学病院	1097	149	249	40	19	640
神戸市立医療センター中央市民病院	726	20	127	24	0	555
関西労災病院	952	5	384	36	0	527
姫路赤十字病院	714	42	189	209	18	256
県立淡路医療センター	713	304	178	210	20	1
近畿中央病院	676	2	119	64	0	491
県立尼崎総合医療センター	581	220	42	11	0	308
市立伊丹病院	320	52	73	96	0	99
宝塚市立病院	292	7	99	167	0	19
他37施設(国 9、県 7、準 20、承 1)	2187	74	633	535	19	926

➤ 2-2. パス稼働について (子宮体がん, 前立腺がん)

- ・ 子宮体がん； 6 (2021年度登録数 0)
- ・ 前立腺がん； 833 (2021年度登録数 55)

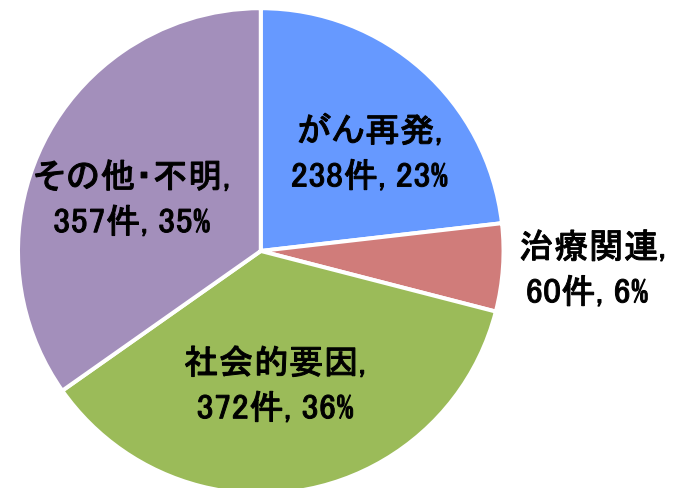
がん診療連携パスの進捗状況

➤ 3. パス脱落症例について

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
登録件数	11387	1248	2562	1905	109	4724	6	833
脱落件数(累計)	1027	252	264	211	31	160	2	107
2021年度 脱落件数	115	28	17	26	1	43	0	0
(件数 前年度比)	-109	-13	-45	-30	-1	±0	-2	-18
脱落割合	9.0%	20.2%	10.3%	11.1%	28.4%	3.4%	33.3%	12.8%

脱落の原因, 件数(累計), 割合

(2021年度件数)	
がん再発	23件
治療関連	12件
社会的要因	50件
その他・不明	30件
合計	115件



➤ 4. バリエーション発生症例について (2021年度 発生0件)

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
登録件数	11387	1248	2562	1905	109	4724	6	833
発生件数	19	5	8	3	3	0	0	0
発生割合	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%

4. *具体的なバリエーション内容や脱落例の事例を、できれば記載ください。

- ◆ 患者から同意を得られないことが時々あります。
- ◆ パス稼働中、患者家族より手術を行った病院(当院)で引き続き治療を希望され、離脱するケースがある。

5. パス普及のシステム上の問題点・課題点 (脱落・バリエーション以外で、連携開始後困ったことが発生していましたら、ご記載ください。)

- ◆ 乳がん、肝がん、肺がん等専門医でない医療機関の受け入れが難しい。
- ◆ 連携先からの報告書が届かないことや終了後も届いていたり、確認が必要。
- ◆ 連携ノートの活用ができていないなど、双方に地域連携パスを円滑に運用するための理解が不十分などところがある。

6. パス稼働の際の新たな提案、提言 (普及のためのご意見)

- ◆ パス適用の際に通常の連携と比べて作成する書類が多いため、外来診療が煩雑となり、新規使用が進まない。
- ◆ 帳票をシンプルにし、システム上で簡便に作成できる工夫が必要。
- ◆ 統一されたルールで運用、連携を行う。
- ◆ パスノートの活用方法や受診日確認の方法などパス運用の目的や方法をなど双方に確認周知する。
- ◆ パスノートが大きすぎ、持ち運びしにくいなど 患者が持参しないことにつながる。
- ◆ がん治療連携計画細策定料の算定要件について、退院日から起算して30日以内に患者に説明し同意書の取得及び連携先への文書を提供とあるが、連携先の選定に時間がかかった場合、30日を超過してしまい算定できないケースがある。普及のためには、件数を増加しなければならないことから、要件の緩和を望む。
- ◆ 新規に開設された医院、病院への周知・参加への働きかけを希望します。
- ◆ パスを利用されている開業医の一覧について情報提供を希望。

7. 「がん治療連携計画策定料」や「がん治療連携指導料」等に関し、以下のチェックを行い、ご意見をお願いします。

A 貴院の「がん治療連携計画策定料」の算定は、どのような状況ですか。

策定料が上手く算定できていない場合には、どのような対策をしていますか。

- ◆ 主治医に個別に伝える。
- ◆ 院内でがん連携について委員会を開催し、検討する。
- ◆ 地域連携パス導入前にスケジュールの確認を関係部署と共有する。
- ◆ 対象患者様がおられない。
- ◆ なかなか対象となる方がいないのが現状。少しずつ増えつつある。

B 「がん治療連携指導料」の算定について、連携医の状況をご存知でしたら教えてください。

指導料が上手く算定できていない場合には、どのように対策を連携医の先生に説明していますか。

- ◆ 導入時に指導料算定に関することも説明している。
- ◆ 連携先に電話して 確認説明してコスト算定してもらうように依頼する。
- ◆ 説明できていない。
- ◆ まだ状況が把握できていない。

C 平成 24 年 4 月以降診療報酬算定の施設基準の申請は、拠点病院(準じる病院も含む)の役割となつていますが、申請は順調に進んでいますか。申請が滞っている原因についてはどう思われますか。

- ◆ 説明会を開催する機会がなかった。
- ◆ コロナ以前は、関連する医療機関を訪問し、施設基準を取得するように働きかけを行っていたが、コロナ禍では、医療機関の訪問が難しく、新規に申請頂ける医療機関が少なくなっている。
- ◆ 現在パスを使用しなくても開業医との連携はうまく取れている。

D パス適応患者があった場合、連携医療機関(かかりつけ医)への診療情報の連絡は順調にいつていますか。連絡作業のうまくいつている病院については、どのような工夫をされていますか。

- ◆ 30 日以内の連携を目標に医師と連携をとって調整している。
- ◆ 連携医療機関か否かも、一覧で把握できるように、電子カルテ上で共有している。
- ◆ 院内マニュアルを整備し、マニュアルに沿って、診療情報の準備も早く出来ている。
- ◆ マニュアルに沿って担当者が電話連絡、FAX 等行っておりこれまで大きな問題はなかった。
- ◆ 適時FAXにてご連絡し、連携からは受診時にFAXにてご報告いただいています。
- ◆ パスの関連書類を病棟からいただき次第、連携先の確認と打診を行っている。
- ◆ 病棟とがん相談支援センターパス担当者の連携がタイムリーに行われている。
- ◆ 医師への診療情報提供書作成の働きかけ、記載しているか、チェックしている。
- ◆ 連携依頼が必要な医療機関へ初回時には主治医が電話で情報提供、連携室から診療情報提供書をファックス連絡している。
- ◆ 地域連携パスを使用している医療機関については、診療部長に同行して地域医療連携課職員が訪問し、問題になっていること等を確認している。
- ◆ 地域医療室が対応できていないため、患者さんに書類を持って行ってもらってそれを事前連絡、承諾に代えているケースが多いと思う。

8. 令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月末までの期間で、地域の医師会との協議や説明会を実施された状況をお聞かせ下さい。

A 地域の医師会との協議について

協議の中で出された問題点等ありましたらお書き下さい。

- ◆ コロナ禍のため 2021 年度は実施できていない状況である。
- ◆ 新型コロナの感染拡大により医師会との協議や説明会は開催できていない。
- ◆ 令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月末までの期間(令和 3 年度)に限ると、北播磨地区がん医療連携協議会の開催が、コロナ禍の為、行われていない。その為、協議が出来ていない。(最終は、令和元年度(令和2年3月開催))
- ◆ 改めて医師会との協議は行っていないが、「5 大がん地域連携パス」について問題点等は特にはない。(今年度もパスについてアンケート実施)
- ◆ 医師会を通じて、説明文書について、各施設にFAXをしていただいた。
- ◆ 東播磨地区がん医療連携協議会 西区医師会・垂水区医師会・須磨区医師会がんセンター医療連携協議会を実施。地域連携部会については、各がんのガイドラインに地域連携パス追い付いていないため速やかに精査する事を報告する。問題点など協議検討はなかった。
- ◆ 胃・大腸がんパスの術後補助化学療法中の約1年間の診療経過報告書(連携拠点病院→かかりつけ医)は、診療都度必要であるかを検討。パス開始時、何か起こった時、化学療法終了時などの節目で良いと取り決める。

また、定期的にかかりつけ医を受診されている患者さんに関しては、かかりつけ医受診前に情報提供できるような良い方法を検討する。

B 地域の医師会への説明会について

説明会で特筆するご意見等ありましたらお書き下さい。

- ◆ コロナ渦のため 2021 年度は実施できていない状況である。
- ◆ 明石市医師会との地域医療連携の会議は、コロナのため延期中止。
- ◆ 最近の新型コロナの感染拡大により、周知の機会を削がれている。
- ◆ 医師会への説明ではなく、かかりつけ医がいない又は患者が希望した医療機関へ個別に説明訪問はしている。
- ◆ 泌尿器科オープンカンファレンスを神戸市長田区医師会と共催し、前立腺がんパスの広報を行った。
- ◆ 過去に姫路市医師会がとりまとめのパスに参画いただいた経緯を踏まえ、説明会や連携などの呼びかけがあれば、積極的に参加したい。

9. 連携先の診療所、医療機関からのご意見などがありましたらお書きください。

- ◆ 計画書の記載がわかりにくい、連携から導入開始までの流れがわかりにくいとご意見があった。
- ◆ 計画書の記載欄が足りない(5年から10年に)
- ◆ 連携ノートがあるため、受診・検査が抜けなく連携できている。
- ◆ がんパスの受け入れや運用に対して好印象な医療機関が多い一方、パスの実態がわからない、患者用の連携ノートが有効に活用されていない等の意見があった。
- ◆ 患者がノートを持参されない。
- ◆ 予定通りに患者さんが通院していないとクレームを言われたことがあり、実際に拠点病院へ来られていた。
- ◆ 日頃から連携している複数のかかりつけ医から、「がん診療連携計画を年単位で管理することが手間である」や、「診療情報提供書に加え専用のパス様式を使用することで自院での管理が煩雑になることが予想され、運用に対して億劫である」などのかかりつけ医にご負担になるとの意見があり、運用に至っていない。
- ◆ 開業医の連携パスの認知度は高くはないと思います。運用の参考事例があれば有難いです。

10. 患者さんからのご意見

- ◆ 連携先が専門医(乳がんなど)でないのが不安、拠点病院から見放された感がある、連携先が院外処方では不便。
- ◆ 手術をした病院で全て診てほしいという意見があった。
- ◆ 病院間の連携があり安心していきます、との意見がありました。
- ◆ ノートを忘れることがあります。
- ◆ 高齢の患者にはパスの意味、理解が難しい印象。
- ◆ かかりつけ医が連携してくれた時喜んでいました。
- ◆ 安心感がある。

11. その他 がんの地域連携パスの現状について、全体を通してご意見ををお願いします。

(うまくいっている理由や、うまくいかない理由、改善策など)

- ◆ がんパス発足後年数が経過している。当初のパス受託医療機関の意思確認や継続可能か等、定期的に調査を行い、パスを推奨していく必要がある。
- ◆ 採血項目の更新が必要と考える。現在の臨床と合致していないものも含まれている。

- ◆ 病院でのフォロー検査や画像データが共有サーバーなどで簡単に確認できると、連携先にも分かり易く、医師の負担も減ると思われる。
- ◆ 連携パスのご案内パンフレットは持ち運びやすさを考慮しサイズを縮小、また患者用連携ノートについては検査結果等をクリアファイル様式で保管できるよう改良した。
- ◆ 地域連携パス適用の判断、説明など運用を変更・改善し、活用しやすくなった。
- ◆ 運用手順を変更したが、適応症例が少ないため経験しているスタッフが少なく周知出来ていない。
- ◆ 院内でがんパスを使用する医師が限られている。
- ◆ 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症等で本年も取り組むことが難しかった。
- ◆ 地域の開業医からのニーズがない。
- ◆ 導入開始時に丁寧な説明と進捗や節目の確認が必要。
- ◆ 地域連携パスの運用方法など理解・周知が進めば、もっとスムーズ お互いにメリットにつながる。
- ◆ 双方に地域連携パスの目的や運用方法、ルールを確認周知することが必要。
- ◆ 患者さんを通じてノートが有効に使えていると簡単に連携がとりやすい。
- ◆ 患者自身が健康手帳としてうまく利用されている。かかりつけ受診時も持参されているのを見たときは連携できていると感じます。
- ◆ 患者の高齢化が進み、パス連携が難しい(患者の理解、2ヶ所に通院など)
- ◆ 今年度、乳がんについて事務の方で患者への説明等の業務範囲を広げて行っており、医師からも地域連携パスについて患者へ進めやすくなったのではないかと思われ、その結果がパスの成立件数に結びついたと思われる。
- ◆ がんパスを電子カルテに掲載し、活用できている。乳がん以外の他の疾患への働きかけが必要と考える。
- ◆ 基本的には開業医の泌尿器科のDrとの連携パスを施行している。そのため、再発時やPSA上昇時にスムーズに再紹介していただき、すぐに治療に取りかかることができ、患者のQOLの向上や当院でのスムーズな治療に寄与していると思われる。
- ◆ 積極的にこれを勧めないといけない理由が明確でなく、若干の診療報酬的なメリットはあるとしても、パスを使用したケースとそうでないケースでなにか大きな違いがあるのか教えてほしい。よく耳にする糖尿病、腎症などの患者の管理手帳などは受診、検査値の記載、日常生活へのフィードバックで療養生活の管理を行うことで病気の進行を遅らせるなどの診療上のメリットも大いにあると思うが、がん地域連携パスのことを主治医、患者さんにはどのように説明すればよいのかお教えいただきたい。
- ◆ 積極的に連携登録医療機関を増やしたいと思いますが、毎年4月には医師の人事異動があり、がんパスを知らない医師が増えるため、説明に追われることがある。また、開業医も連携医療機関といえどもがんパスの認識には格差がある。
- ◆ 以前大腸がんパスの導入を行い2件使用したが、院内で浸透せず現在はがん連携パスは使用していない状態である。
- ◆ 当院での件数は少ないですが、がん治療における関連病院(がん診療連携拠点病院)として、連携させて頂いております。
- ◆ まだ現状1件しか対象がいないので、今後増やしていきたい。また乳がん以外のパスの導入も検討中です。

連携医療機関リスト集計

(令和4年3月31日現在)

(件)

* 地域別集計

地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸	896	693	658	484	457	450	40	125
阪神南	2894	1706	1649	1562	1462	1265	468	626
阪神北	1416	846	832	785	746	622	123	217
東播磨	390	309	304	277	277	249	22	109
北播磨	198	171	168	158	159	111	9	14
中播磨	514	466	465	456	385	256	32	11
西播磨	47	44	42	40	39	33	6	8
但馬	95	88	86	73	66	47	3	9
丹波	49	41	36	11	13	10	4	8
淡路	122	113	110	107	109	92	4	66
県外	93	40	38	32	32	37	13	14
計	6,714	4,517	4,388	3,985	3,745	3,172	724	1,207

* 各病院詳細

(件)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
近畿中央病院	芦屋市	11	10	10	10	9	9	7	7
	伊丹市	54	47	45	35	32	20	2	12
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	西宮市	95	87	86	83	74	73	34	39
	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	姫路市	1	1	1	1	1	1		
	尼崎市	127	118	114	99	94	67	19	38
	宝塚市	30	26	25	24	25	18	4	7
	川辺郡	2	2	2	2	1	1		
	県外	1	1						
合計	11	353	322	313	283	262	214	72	113

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
関西労災病院	尼崎市	134	124	108	100	95	74	19	35
	西宮市	103	94	92	90	81	76	35	46
	芦屋市	13	11	11	11	10	10	6	6
	伊丹市	39	36	33	33	28	20	1	6
	宝塚市	34	31	26	24	24	18	4	8
	川西市	15	14	14	14	12	11	3	5
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	神戸市	3	1	1	1	1	1	1	1
	大阪市	3	3	3	3	3	3	2	2
	その他	2	2	2	2	2	2		
合計	10	363	332	306	294	270	229	73	113

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸大学医学部附属病院	神戸市	115	108	107	96	84	82		
	姫路市	11	9	9	9	9	9		
	西宮市	3					3		
	芦屋市	3	1	1	1	1	3		
	宝塚市	1					1		
	伊丹市	1	1	1	1	1	1		
	尼崎市	1					1		
	明石市	3	2	2	2	2	3		
	三田市	3	3	3	3	2	3		
	三木市	4	4	4	3	4	2		
	西脇市	1	1	1	1	1	1		
	加東市	1	1	1	1				
	相生市	1	1	1	1	1	1		
	佐用町	1	1	1					
	宍粟市	1	1	1	1	1	1		
	淡路市	1	1	1	1	1	1		
	大阪市北区	1	0	0	0	0	1		
合計	17	152	134	133	120	107	113	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 中央市民病院	神戸市	173	135	100	85	80	82		22
	姫路市	8	7	7	7	7	6		
	尼崎市	3	1						1
	明石市	9	4	1	1	1	2		3
	西宮市	12	3	3	3	3	4		7
	洲本市	1	1	1	1	1	1		
	芦屋市	5	4	3	3	2	3		1
	伊丹市	1							1
	豊岡市	1				1			
	加古川市	1							
	宝塚市	3					1		2
	三木市	2	1	1	1	1	1		
	川西市	3							2
	三田市	5	4	3	2	2	2		1
	加西市	1							1
	丹波篠山市	1							
	丹波市	4	2	2	2	3	2		1
	南あわじ市	1					1		
	淡路市	4	3	3	2	3	2		1
	加東市	2	1	1	1				1
太子町	1								
上郡町	1	1	1	1	1	1			
佐用町	1							1	
県外	9	8	7	7	7	6			
合計	24	252	175	133	116	112	114	0	45

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路赤十字病院	姫路市	110	104	107	105	52	49	13	
	たつの市	5	5	5	4	4	3		
	宍粟市	7	7	7	7	7	7		
	佐用町	5	5	5	5	5	5		
	相生市	2	2	2	2	2	1		
	加古川市	1					1		
	神戸市	1					1		
合計	7	131	123	126	123	70	67	13	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路医療センター	姫路市	100	94	94	94	87	56		
	たつの市	4	4	4	4	4	2		
	佐用町	1	1	1	1	1	1		
合計	3	105	99	99	99	92	59	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
赤穂市民病院	赤穂市								
	相生市	1	1						
	上郡町	1	1						
	たつの市								
	佐用町								
	宍粟市								
	姫路市								
合計	7	2	2	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 淡路医療センター	洲本市	23	23	23	21	22	20		14
	南あわじ市	25	25	23	25	25	23		16
	淡路市	23	23	22	23	23	20		20
合計	3	71	71	68	69	70	63	0	50

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
公立豊岡病院	豊岡市	35	32	32	26	27	18		
	養父市	9	9	9	9	7	5		
	朝来市	6	6	5	3	2	4		
	香美町	2	2	2	2	1	2		
	県外	5	5	4	4	4	3		
合計	5	57	54	52	44	41	32	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫医科大学病院	西宮市	122	111	104	99	85	75	34	47
	芦屋市	16	14	14	13	10	11	7	7
	宝塚市	32	27	25	24	25	18	5	7
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	112	101	100	93	93	63	17	31
	川西市	14	13	13	13	12	11	3	5
	伊丹市	37	34	34	33	31	20	2	7
	川辺郡	3	3	3	3	2	2	1	1
	神戸市	3	1	1		1		1	
	明石市	1	1	1	1				
	加東市	1	1	1	1				
	美方郡	1	1	1					
	南あわじ市	1					1		
	淡路市	1	1	1	1	1	1		
	県外	10	7	7	6	6	3	2	2
合計	15	371	331	321	303	280	219	74	111

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西脇市立西脇病院	西脇市	13	12	13	10	11	6		
	多可郡多可町	7	6	6	7	6	4		
	加東市	9	9	9	8	8	7		
	小野市	4	4	4	4	3	3		
	加西市	8	8	8	8	7	6		
	三木市	16	15	14	15	15	13		
	丹波市	3	3	3	3	3	3		
合計	4	60	57	57	55	53	42	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 丹波医療センター	丹波市	21	20	17					
	丹波篠山市	7	6	5					
	多可郡多可町	2	2	1					
	朝来市	2	2	2					
合計	4	32	30	25	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立 西神戸医療センター	神戸市西区	13							23
	神戸市垂水区	11							10
	神戸市須磨区	9							
	神戸市長田区	6							
	神戸市兵庫区	2							
	神戸市北区	5							
	神戸市中央区	9							
	神戸市灘区	9							
	神戸市東灘区	8							
	明石市	1							
	三木市	2							1
	川西市	2							
	宝塚市	2							
	西宮市	4							
	三田市	1							
	芦屋市	2							
	加古川市	0							
	加東市	1							
	加西市	1							
	姫路市	7							
佐用郡	1								
淡路市	1								
合計	22	97	0	0	0	0	0	0	34

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立伊丹病院	芦屋市	12	10	10	10	9	10	8	9
	伊丹市	39	32	33	32	28	19	9	2
	三田市	17	16	16	16	14	14	4	2
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	西宮市	99	91	90	87	77	72	40	35
	川西市	13	12	12	12	11	10	5	3
	猪名川町	2	2	2	2	1	1		
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
	尼崎市	104	97	95	91	86	61	32	18
	宝塚市	29	25	24	23	24	17	7	4
	姫路市	1	1	1	1	1	1		
合計	11	320	290	287	277	254	208	108	76

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
加古川中央市民病院	稲美町	7	6	6	5	6	4		4
	加古川町	18	11	11	9	7	10		10
	加西市	1	1	1		0			
	高砂市	19	16	16	10	10	8		9
	三木市	2	2	2	2	2	2		
	志方町	1	1	1	1	1	1		
	上荘町	1	1	1	1	1	0		
	神野町	2	2	2	1	0	1		1
	西神吉町	5	5	4	4	3	2		1
	東神吉町	2	2	2	1	1	1		1
	播磨町	7	5	5	5	5	4		4
	八幡町	1	1	1	1	1	1		
	尾上町	7	5	5	5	5	3		3
	姫路市	5	3	3	2	2	3		
	平岡町	8	7	7	7	7	6		4
	米田町	1	1	1	1	1	1		
	別府町	5	4	5	5	3	5		3
	明石市	5	4	4	4	4	4		1
野口町	6	6	5	4	4	3		2	
合計	19	103	83	82	68	63	59	0	43

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 尼崎総合医療センター	尼崎市	140		6		26	50		5
	伊丹市	30				2	2		
	宝塚市	29		1		1	4		
	芦屋市	11				2			2
	西宮市	93				1			1
	大阪府	8					4		
	その他	31							
合計	7	342	0	7	0	32	60	0	8

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神鋼記念病院	神戸市	63	43	47	36	28	36		9
	芦屋市	6	2	3	1		2		1
	西宮市	6					4		2
	尼崎市	1					1		
	明石市	5					3		2
	伊丹市	1					1		
	川西市	1					1		
	加古川市	1					1		
	三田市	1	1	1					
	加東市	1	1	1					
	宝塚市	1					1		
	丹波市	1							1
	合計	12	88	47	52	37	28	50	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立がんセンター	明石市	101	82	83	74	75	55	15	46
	加古川市	50	43	42	40	42	34	5	7
	稲美町	8	6	6	4	6	4	1	2
	播磨町	7	6	6	6	6	5	1	2
	高砂市	23	20	20	19	22	17		1
	西区	50	45	43	39	35	29	10	19
	垂水区	49	38	35	30	36	24	10	17
	須磨区	18	16	17	13	12	11	2	2
	北区	14	13	13	10	8	8	2	
	東灘区	10	8	9	9	8	6		2
	灘区	11	7	7	7	7	7	4	2
	中央区	22	17	17	14	13	8	3	3
	長田区	9	9	9	9	9	6		1
	兵庫区	10	8	9	5	6	5	1	2
	三木市	24	18	16	19	20	15	4	4
	加西市	8	6	6	5	6	3	1	2
	加東市	7	5	6	5	5	4		1
	西脇市	13	8	8	7	10	4	3	3
	多可郡	5	5	5	5	5	1	1	1
	小野市	9	9	9	9	9	6		
	姫路市	36	26	23	23	21	15	4	7
	神河町	1	1	1	1	1	1	1	1
	福崎町	2	2	2	1	1	1	1	1
	赤穂市	2	2	2	2	2	2	2	2
	宍粟市	2	2	2	2	1	1	1	1
	佐用町	1	1	1	1	1	1		
	たつの市	4	4	4	4	4	2	2	3
	相生市	1	1	1	1	1	1		
	太子町	1	1	1	1	1	1	1	1
	上郡町	1	1	1	1	1	1		
	三田市	5	3	4	3	3	2		1
	宝塚市	3					2	1	
	尼崎市	4	1	1	1	1	3	2	1
	西宮市	6	3	3	1	2	3	2	2
	芦屋市	1					1		
	南あわじ市	10	9	10	8	8	4	1	6
	淡路市	17	16	14	14	14	11		4
	洲本市	12	9	10	9	9	5	3	5
	豊岡市	10	9	7	6	6	2	1	4
	朝来市	5	5	5	5	4	2	1	3
	養父市	4	4	4	4	3	3	1	1
	香美町	2	1	1	1		2		1
	丹波市	8	6	5	3	3	1	1	3
	篠山市	3	3	3	2	3	3	2	2
	大阪市北区	1						1	
	大阪市東淀川区	1		1					
	豊中市	1	1	1					
	大阪市中央区	2	1	1			1		
	吉野郡大淀町	1							1
	大島郡知名町	1	1	1	1	1	1	1	1
	大阪市福島区	0							
	大阪市淀川区	2	2	2					
	京都府福知山市	1	1	1	1	1	1		1
	鳥取市	1	1	1	1	1	0		
	寝屋川市	2					2		
	東京都豊島区	1					1		
	奈良市	1					1		
	徳島県美馬市	1					1		
合計	58	605	486	479	426	433	330	92	169

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立西宮病院	尼崎市	92	79	78	76	72	54	13	24
	西宮市	92	77	77	74	63	62	25	32
	芦屋市	10	7	7	7	6	7	4	5
	伊丹市	30	27	27	27	24	19	2	6
	宝塚市	27	22	22	22	22	15	3	6
	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	川辺郡	2	2	2	2	1	1		
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	姫路市	1	1	1	1	1	1		
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	11	288	247	246	240	217	186	55	85

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西宮市立中央病院	西宮市	103	93	92	90	80	77	36	46
	芦屋市	14	12	12	12	11	11	8	8
	宝塚市	29	25	24	24	24	17	4	7
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	103	91	90	87	82	60	20	34
	川西市	13	12	12	11	12	10	3	5
	猪名川町	2	2	2	2	1	1		
	伊丹市	31	29	29	29	27	18	2	5
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	10	316	284	281	274	254	211	78	112

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
県立加古川医療センター	加古川市	43	35	36	36	33	36		3
	高砂市	24	22	22	21	22	19		
	姫路市	10	8	8	7	8	7		
	明石市	2					2		
合計	4	79	65	66	64	63	64	0	3

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸医療センター	神戸市	117	111	110	93	80	80		
	明石市	3	3	3	3	3	1		
	淡路市	2	2	2	2	2	2		
	伊丹市	1	1	1					
	加古川市	1	1	1	1	1	1		
	加西市	1	1	1	1		1		
	三田市	1	1	1	1	1			
	多可郡	1				1			
	西宮市	1	1	1	1	1	1		
	姫路市	3	3	3	3	3	3		
合計	10	131	124	123	105	92	89	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
製鉄記念広畑病院	姫路市	101	95	95	94	89	34	13	
合計	1	101	95	95	94	89	34	13	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
北播磨総合医療センター	三木	18	17	16	15	14	11		
	小野	10	10	10	10	9	7		
	加東	4	4	4	3	4	1		
	加西	9	9	9	8	8	7		
	西脇	4	4	4	4	4	4		
	多可	2	2	2	2	2	1		
	神戸	15	15	15	11	9	10		
	明石	2	1	1	1	1	2		
	加古川	1	1	1	1	1	1		
	高砂	1	1	1	1	1	1		
	加古郡	1	1	1	1	1	1		
合計	11	67	65	64	57	54	46	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
宝塚市立病院	宝塚	86	77	75	71	74	62	22	43
	芦屋	11	10	10	10	10	10	8	8
	伊丹	33	30	29	29	27	18	2	7
	三田	17	16	16	16	14	14	3	5
	篠山	1	1	1	1	1	1	1	1
	神戸	3	3	3	1	2	1	2	2
	西宮	96	86	85	81	76	69	36	45
	川西	16	13	13	13	11	10	4	7
	川辺郡	4	4	4	4	3	3	2	2
	尼崎	99	91	87	85	79	56	18	32
	大阪	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	11	367	332	324	312	298	245	99	153

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明和病院	西宮市	375	88	69	67	59	50	16	26
	芦屋市	39	6	6	6	6	6	5	4
	宝塚市	153	29	29	28	28	28	4	7
	三田市	82	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	375	76	76	73	66	52	11	21
	川西市	71	14	14	14	12	11	2	4
	伊丹市	104	24	23	14	22	17	1	3
	川辺郡	8	2	2	2	1	1		
合計	8	1207	255	235	220	208	179	41	69

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸赤十字病院	神戸市	22	20	21	19	20	20		
	明石市	1	1	1	1	1	1		
合計	2	23	21	22	20	21	21	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路中央病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
公立八鹿病院	養父市	9	9	9	9	8	5		
	朝来市	6	5	6	5	5	3		
合計	2	15	14	15	14	13	8	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
三田市民病院	三田市	18	17	17	17	15	15		
	宝塚市	16	15	15	15	14	11		
	伊丹市	16	16	16	16	15	11		
	川西市	8	8	8	8	7	7		
	猪名川町	1	1	1	1	1	1		
	西宮市	29	29	29	29	26	25		
	尼崎市	43	42	41	41	37	29		
	芦屋市	3	2	2	2	2	3		
合計	8	134	130	129	129	117	102	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸中央病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
川崎病院	兵庫区	1	1						
合計	1	1	1	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 西市民病院	須磨区	4							3
	兵庫区	2							3
	長田区	1							
	垂水区	1							
合計	4	8	0	0	0	0	0	0	6

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立川西病院	阪神北	1		3					
合計	1	1	0	3	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫中央病院	芦屋市	4							
	伊丹市	20							
	三田市	18							
	西宮市	48							
	川西市	11							
	川辺郡	2							
	尼崎市	67							
	宝塚市	22							
合計	8	192	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明石医療センター	明石市	3					3		
	加古川	1					1		
合計	2	4	0	0	0	0	4	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明石市立市民病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸海星病院	神戸	2	2	2					
合計	1	2	2	2	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路聖マリア病院	姫路市	111	105	104	101	96	66		2
	たつの市	1	1	1	1	1	1		
	加東市	1	1	1	1	1			
	加西市	1	1	1	1	1			
	宍粟市	1	1	1	1	1	1		
	朝来市	3	3	3	3	2	1		
	神崎郡	5	5	5	5	5	2		
	揖保郡	1	1	1	1	1	1		
	多可郡	1	1	1	1	1			
合計	9	125	119	118	115	109	72	0	2

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
高砂市民病院	明石市	1	2						
合計	1	1	2	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
済生会兵庫県病院	神戸市	18	17	17		14	17		
	三田市	9	7	7		3	7		
	西宮市	2	2	2		2	2		
	三木市	1	1	1		1	1		
合計	4	30	27	27	0	20	27	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸労災病院	神戸市中央区	23	23	23					
	神戸市灘区	22	22	22					
	神戸市東灘区	12	12	12					
	神戸市兵庫区	2	2	2					
	神戸市長田区	1	1	1					
	神戸市須磨区	1	1	1					
	神戸市西区	1	1	1					
	神戸市北区	4	4	4					
	芦屋市	1	1	1					
合計	9	67	67	67	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
新須磨病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立芦屋病院	芦屋市	30	25	25	20	19	6	4	
	西宮市	6	5	5	5	4	4	2	
	神戸市	1			1				
合計	3	37	30	30	26	23	10	6	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立加西病院	明石市						1		
合計	1	0	0	0	0	0	1	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
甲南医療センター	東灘区	10					10		
	灘区	1					1		
	芦屋市	2					2		
合計	3	13	0	0	0	0	13	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸低侵襲がん医療センター	神戸	1	1	1	1		1		
合計	1	1	1	1	1	0	1	0	0